



SCCJ Osaka

日本化粧品技術者会 大阪支部 60周年記念誌

60th anniversary



目次 ■ contents

■— ご挨拶

| | |
|--------------------------|---|
| 日本化粧品技術者会 大阪支部 幹事長 柴山 裕治 | 2 |
|--------------------------|---|

■— 祝 辞

| | |
|-----------------------------------|---|
| 日本化粧品技術者会 会長 西山 聖二 | 3 |
| 日本化粧品技術者会 東京支部 幹事長 内藤 昇 | 4 |
| 日本化粧品工業連合会 副会長、西日本化粧品工業会 会長 西村 元延 | 5 |
| 近畿化粧品原料協会 会長 岩瀬 健治 | 6 |

■— 創立 60 周年記念行事

| | |
|------------------------------|----|
| 創立 60 周年記念行事 式次第 | 7 |
| 記念講演 日本化粧品技術者会 大阪支部相談役 鈴木 一成 | 8 |
| 特別講演 京都大学再生医科学研究所 准教授 山下 潤 | 9 |
| 功労者紹介 | 10 |

■— 日本化粧品技術者会大阪支部 60 年のあゆみ

| | |
|---|----|
| 大阪支部 60 年のあゆみ 年表 | 14 |
| 最近 10 年の行事記録 | 20 |
| 総会 20 / 第 24 回 IFSCC 大阪大会 22 / 講演会 24 / 化粧品技術基礎講習会 26 | |
| 勉強会 30 / 研修会 33 / エルダーズ会 34 / 協賛・共催行事 35 | |

■— 資料編

| | |
|----------------------|----|
| 日本化粧品技術者会 (SCCJ) の概要 | 38 |
| 大阪支部会員数の推移 | 39 |
| 大阪支部規約 | 40 |
| 最近 10 年の幹事・常議員 | 42 |
| 大阪支部 60 周年記念事業 委員紹介 | 47 |
| あとがき | 48 |

SCCJ osaka

日本化粧品技術者会大阪支部 60 周年記念誌

60th anniversary



東西支部の諸活動の交流と 活性化によって 化粧品産業の発展に寄与する。

日本化粧品技術者会 大阪支部 幹事長 柴山 裕治

日本化粧品技術者会大阪支部創立 60 周年の節目として記念誌を発刊できることは大変喜びにたえません。

本会は、昭和 24 年 6 月に化粧品技術調査委員の結成を機に、昭和 24 年 11 月 22 日に近畿化粧品工業協同組合技術委員会として改組、そして昭和 25 年 3 月 13 日に近畿化粧品技術者会として新発足し、昭和 39 年 9 月 15 日に大阪化粧品技術者会、そして平成 13 年 5 月の第 41 回日本化粧品技術者会総会にて東京および大阪両化粧品技術者会が日本化粧品技術者会に統一され、日本化粧品技術者会大阪支部と改名され、今日に至っています。現在、会員会社数 308 社、会員数 491 名（平成 21 年 11 月 30 日）の会に発展して参りました。これもひとえに諸先輩方の熱心なご努力の積み重ね並びにご支援の賜物と改めて感謝申し上げる次第です。

この度、記念講演にはノエビア相談役最高顧問・鈴木一成大阪支部相談役に「大阪支部の 60 年を振り返って」の講演を、また特別講演には「再生医療の最前線」と題して京都大学再生医科学研究所准教授・山下潤博士に講演を御願いし、そして記念式典、祝賀会等が行なわれ 60 周年記念事業と致しました。

この 10 年を振り返れば、平成 18 年 10 月に第

24 回国際化粧品技術者会連盟・大阪大会が大阪支部の皆様方のご尽力のお蔭で、参加者 2,010 名という人数で大成功裡に終わりました。また、平成 20 年 4 月 7 日には、日本化粧品技術者会は、日本学術会議協力学術研究団体としての認可を受け、学会として認証されました。平成 21 年 3 月には、第 9 回アジア化粧品技術者会・横浜大会が、初回に神戸（平成 5 年 6 月）で開催されて以来、日本で二度目の開催となったことは、記憶に新しいところであります。

私は、大阪支部幹事長に就任後、時代の流れに対応して熊野 SCCJ 前会長と共に活動方針である「東西支部の諸活動の交流と活性化によって、化粧品科学・技術の進歩と化粧品産業の発展に寄与する魅力ある技術者会をめざす」を推進すべく会の発展のために尽力して参りました。今後、平成 21 年 5 月 SCCJ 本部総会にて新たに就任された西山 SCCJ 会長の下、日本化粧品技術者会は、東西両支部の独自性を尊重すると共に両支部のさらなる整合性を図り発展することが大事だと考えております。

大阪支部 60 周年記念誌の発刊にあたり、会員の皆様のご健勝と日本化粧品技術者会が益々発展することを祈願し、発刊のご挨拶と致します。



本部との連携を強め SCCJのさらなる発展に向けた 大きな推進力となって頂きたい。

日本化粧品技術者会 会長 西山 聖二

日本化粧品技術者会大阪支部が発展を続け、60周年を迎えられた事を心よりお喜び申し上げます。

50周年からこの10年間に大阪支部でも大きな変化がありました。2001年の日本化粧品技術者会の統一に伴い、大阪化粧品技術者会は日本化粧品技術者会大阪支部になったこともその一つでしょう。単に名前の変化だけではなく、化粧品技術者会として一体化した活動も多く進めて来られました。

この10年間の大きな事業としては、2006年のIFSCC コングレス大阪大会を成功裡に開催できたことが挙げられます。地元の大阪支部の総力を発揮して頂き、この大事業を成功に導いてくれたものと思います。日本化粧品技術者会の底力を国内外に示せたイベントでした。この成功を通して会の一体感はさらに高まったものと信じます。これ以外にも多くの事業を開催し成功させてきました。CITEを隔年で継続開催し、年々規模を拡大して参りました。また、2009年3月にはCITEとASCS横浜大会を同時開催し、いずれも過去の実績を上回る成果を上げることができました。これも大阪支部を初め、SCCJメンバーが一丸となった活動の結果と感謝する次第であります。

今後とも日本化粧品技術者会はさらに発展して行かねばなりません。会長就任の挨拶で①学会としてのあ

り方、②会員への情報提供のあり方、③堅実な組織のあり方の3つの課題を述べさせて頂きました。プロジェクト活動を通して会計の統一など新しい取り組みが進んでいます。時には痛みを伴う思い切った変革も必要かもしれません。これらを実現し、日本化粧品技術者会をさらに発展させるには今まで以上に本部、支部の連携が大切であります。大阪支部におかれましてもいつの時代でも、どんな状況でも浪速の力を発揮し益々の発展を続けていかれると共に、日本化粧品技術者会の今後の発展に向けての推進力となって頂ける事をお願いし、お祝いの言葉とさせていただきます。

60周年、おめでとうございます。



東西支部の独自性を発揮しつつ 共に努力して 会の発展に努めてまいりましょう。

日本化粧品技術者会 東京支部 幹事長 内藤 昇

日本化粧品技術者会大阪支部の創立60周年を迎えるにあたり、心よりお祝い申し上げます。この栄えある日を迎えられたのも、60年の長きに亘って役員や会員の皆様方が本会の発展のためにご努力された賜物と思っております。2007年に東京支部が創立60周年を迎えましたので、東京支部の2年後にこの現在の大阪支部が設立された事になります。私は東京支部の幹事長に就任してから日が浅いこともあり、大阪支部の活動を十分に把握しているとは言いがたいのですが、2001年に東西支部が日本化粧品技術者会として統一された後も、関西地区の独自性を発揮しながら日本化粧品技術者会の発展のために本当にご尽力されていると受けとめております。

さて今般、100年に一度といわれている厳しい経済状況にあって、化粧品産業も例外ではなく売上げの伸張が見込めない状況になってきました。この様な環境の中で学会としての日本化粧品技術者会のアクティビティーを維持し、さらに発展させていく事は大変困難を極めるのではないかと危惧しています。今後予定されている東西支部の会計の統一化や、合同の総会開催など、より合理的に会を運営する施策が必要であると考えています。

また日本化粧品技術者会は、2009年の春に行わ

れたASCSの開催内容でもお分かりいただける様に、アジア圏での化粧品技術の発展のために今後益々リーダーとしての役割を發揮していかねばならない立場にあります。

私は常々自社の研究員に、日本化粧品技術者会こそ私たち化粧品技術者の本拠地であると明言してきました。諸先輩の築かれたよい伝統を守りつつも、若い現役の皆様ごの期待に応える会を運営していくことが、今後の会の発展の重要なポイントではないかと考えております。それぞれの支部の独自性を發揮しつつも、東西両支部の交流をより一層深め、70周年、80周年、そして100周年を迎えられるよう、共に努力してまいりたいと思います。今後ともご支援とご協力を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます、祝辞とさせていただきます。



日本の化粧品が 世界から支持され定着されるよう 互いに協力してまいりましょう。

日本化粧品工業連合会 副会長 西村 元延
西日本化粧品工業会 会長

日本化粧品技術者会大阪支部におかれましては、このたび創立60周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

貴会は、1949年に化粧品技術者有志の方々により近畿化粧品技術者会として発足されておりますが、当時は化粧品の原材料不足に加え今ほどに高度で豊かな技術情報もない混沌とした時代でありました。

しかしながら創立以来60年、会員の皆様方の不断の努力により確たる団体に拡充されるとともに、日本の化粧品技術が世界をリードするレベルにまで向上させ、現在では日本の化粧品が世界のブランド品と絶賛されるほど技術面で飛躍的な発展を遂げてされました。また、2006年にはIFSCC大阪大会を成功裡に終えられるなど、これまでの数々のご功績に対し改めて敬意を表する次第でございます。

昨今、国民の皆様方は安全安心に加え、機能性に優れた化粧品を求めておられます。我々業界としては、この要請に応えるべく技術革新に努めるとともに、バイオ原料やナノマテリアル等の安全性の検証、動物実験削減や地球環境保全のための対応策などの課題についてもさらに検討を進める必要があると考えております。

これら安全性・有用性・機能性・地球環境保全の全てを加味した化粧品の開発を推進することによって、全世界の人々に日本の化粧品がさらに定着していくことを念願しております。

近年、日本経済は非常に厳しい状況下にありますが、貴会の皆様方と当会がさらに連携を密にし、化粧品産業の健全な発展に邁進して参りたいと考えております。

結びになりましたが、日本化粧品技術者会大阪支部が創立60周年を迎えるにあたり、永年に亘りご尽力されてこられた歴代の幹部の方々並びに会員の皆様方に対し、深甚なる敬意を表しますとともに、貴会の今後益々のご隆盛と皆様方のご健勝を祈念し、簡単粗辞ではございますがお祝いの挨拶とさせていただきます。



グローバルハーモニゼーションを リードする要として 益々の発展を期待します。

近畿化粧品原料協会 会長 岩瀬 健治

日本化粧品技術者会大阪支部が創立 60 周年を迎えられた由、誠におめでとうございませう。会員数も 500 名近いとの事、皆様方の熱心な努力の賜物と敬服する次第です。

2001 年に東西が統一されるまで大阪化粧品技術者会として関西独自の発展をされると共に、東京の技術者会と協力され日本として国内外で積極的な活動をされてきました。

国内での大阪支部独自の勉強会や基礎講習会・講演会、日本としての研究討論会やセミナーの開催、国際的には IFSCC や ASCS への参加や毎回のような日本の会員様のアワード受賞。そして 2008 年 4 月には日本化粧品技術者会が学術団体として認められたとの事で喜ばしい限りです。

2009 年 3 月にはパシフィコ横浜にて第 9 回 ASCS 横浜大会と、第 4 回化粧品産業技術展を同時期に開催され大盛況でありましたが、そのことから 21 世紀も日本の化粧品業界がグローバルハーモニゼーションをリードする立場にあることが確信されます。

近畿化粧品原料協会はオイルショックによる混乱の時代、関西の化粧品原料業者が、原料の品質確保と安定供給のために業者同士の結束と協調の必要性を痛感し、1975 年 5 月に大阪において創立、貴会や工業会を始め関連官公庁、その他諸団体からのご指導、

ご協力を仰ぎながら業界の一層の発展を願って日々活動しています。

昨今の異業種での不祥事に鑑み「消費者から不安・不信を除き安心・安全な商品提供の必要性和消費者保護」、「化管法や安衛法の改正」、「諸外国とのグローバルな GHS、REACH 等化学物質の規制」、「世界的な金融危機を発端とした経済的な課題」、「地球温暖化や絶滅危惧種等に関する環境問題」、等の多くの問題が山積みし、政権交代による生みの苦しみが予感されます。今までにも多くの障害や困難を乗り越えてきたように、皆様方のご努力によりさらなる技術の革新、安心・安全の信頼関係の構築により人々の暮らしが平和で豊かなものになるものと期待する次第です。

日本化粧品技術者会が主催で 2003 年に第 1 回が開催されました化粧品産業技術展。その後毎々盛大に開催され、2009 年 3 月には第 4 回目の開催で総入場者数が 4 万人をオーバーする大盛況でした。2011 年の第 5 回は東西の原料協会が連合しての主催で開催させて頂く事となりました。第 4 回に増して皆様方のご協力をお願い申し上げます。

創立 60 周年を迎え、これまで貴会を支えてこられた歴代の幹事の方々、関係者のご努力に対し心より敬意を表するとともに、益々のご発展とご繁栄をお祈り申し上げます。

日本化粧品技術者会大阪支部 創立 60 周年記念行事

開催日：2010年1月27日（水）
会 場：大阪国際交流センター

■ 式次第

- 13：00 受付開始
- 14：00 開会の辞（司会：山本幹事）
- 14：05 幹事長挨拶（柴山幹事長）
- 14：10 来賓ご祝辞
- ・橋下 徹 様（大阪府知事）
 - ・西村 元延 様（西日本化粧品工業会会長）
 - ・岩瀬 健治 様（近畿化粧品原料協会会長）
- 14：30 記念講演
- 「大阪支部の60年を振り返って」
- ・鈴木 一成 相談役（農学博士、㈱ノエビア相談役最高顧問兼名誉研究所長、日本化粧品技術者会名誉会員、日本化粧品技術者会大阪支部相談役、元大阪化粧品技術者会会長）
- 15：10 功労者表彰
- 15：30 休憩
- 15：45 特別講演
- 「再生医療の最前線 — ES細胞およびiPS細胞を用いた心臓・血管の再生—」
- ・山下 潤 博士（京都大学再生医科学研究所准教授）
- 17：15 休憩
- 17：30 祝賀会 さくらの間（司会：前川常議員）
- ・開会の辞 吉岡副幹事長
 - ・ご祝辞 川本 忠彦 様（西日本化粧品工業会専務理事）
 - ・ご祝辞 西山 聖二 様（日本化粧品技術者会会長）
 - ・鏡割り ご来賓の皆様
 - ・乾杯 内藤 昇 様（日本化粧品技術者会東京支部幹事長）
- （ご歓談）
- ・功労者ご挨拶
- 19：30 頃・中締め 岡田副幹事長



鈴木一成

農学博士、株式会社ノエビア相談役最高顧問兼名誉研究所長
日本化粧品技術者会名誉会員、大阪支部相談役、元大阪化粧品技術者会会長

大阪支部60年を振り返って

1953年、(株)中山太陽堂(クラブ)の研究部長西郷宗之助氏から近畿化粧品技術者会は1950年3月創立と聞いた。設立当時の立役者は西郷宗之助博士(クラブ)、岸春雄博士(明色)、立岡貞夫(三羽鶴)、木原睦夫(ピアス)、上野栄次郎(丹頂)、神代良明(テルミー)の諸氏。会の事業は講演会、見学会や懇親会で、東京化粧品技術者会との親睦を図るため年1回1泊旅行を企画。さらに独自の化粧品技術者会の創設を図り、化粧品及び関連科学技術の進歩向上を目的とした学術団体となることを考えた。1961年5月27日、東西技術者連合総会において、日本化粧品技術者連合会を結成。会長小山常正氏、副会長西郷宗之助氏、高橋香氏。小山氏は日本が国際化粧品技術者会に加盟するためには早く日本の一本化が必要だと考えていた。

1964年10月8日姫路市の夢乃井で大阪化粧品技術者会発会式。初代会長西郷宗之助氏は2期勤められたあと体調を崩し、2代目上野英三郎氏に引き継いだ。技術者会という名称では業業クラブに入れないという理由で、1966年4月13日協会と名称変更。会の組織も東京化粧品技術者会と対等になるよう漸次充実した。

技術発表会に関しては、1959年11月24日中山太陽堂で化粧品技術者会による最初の研究発表会。以後1962年3月20日、第1回勉強会(近大会館)を大阪独自に実施。1966年9月14日第7回の勉強会を最後に1969年2月24日に東西合同として第1回定期研究会が大阪技術センターで開催され、日本化粧品技術者会研究討論会のはじまりとなり、それ以降春は関西で、秋は東京で開催されることとなった。1968年第5回IFSCC(国際化粧品連盟)東京大会の第2部京都大会を大阪が担当。一方で、1976~1977年頃、化粧品被害の訴訟があり原因が赤色219の不純物スタンIと判明。技術の向上こそ技術者会の使命であり、化粧品の安全を当然のことながら常に考えようとの警告となった。

1993年6月アジア化粧品技術発表会(第1回ASCS)が神戸で開催され全38報の発表があり、当会の一致協力のもと、アジアのリーダーとしての役割を果たすことが出来たことは見逃せない。この会は私が組織委員長を引き受けたこともあり、記憶に焼きついている。

1996年私は当会の創立50周年記念事業本部長、1999年4月当会長に就任、記念式典と講演会は1999年11月5日コスモスクエア国際交流センターで、祝賀会はハイアットリージェンシーホテルにて開催。またこの間に、日本化粧品技術者会大阪支部への移行準備が出来た。

2006年IFSCC大阪大会は河本昌彦前幹事長とその協力体制のもと、東京との連携で成功裏に終えた。高円宮妃をお迎えし、参加者数も過去最大の2000名を超え感動した。口頭発表66報、ポスター発表276報、多数の企業展示。会の運営のためリーガロイヤルホテルをコントロールした高木慶一氏の力も大。これらの様子はビデオ(約20分)にてご覧頂く。

一方、2001年4月には2006年IFSCC大阪大会を開催するにあたり、大阪化粧品技術者会を日本化粧品技術者会大阪支部、東京化粧品技術者会をその東京支部と統合、従来の会長を幹事長とした。会則、規約などを改正。当会が培った伝統を失うことなく、大阪独自の運営。現在は、東京は化成品会館に事務所、大阪は岩瀬コスファ様にお世話になっている状況。当会が設立当時は70名ほどの会員であったのが現在500名近くに増えたことを考えると感慨無量である。

ここに改めて先輩諸氏が当会を設立し化粧品技術の向上や初期の目標であった学術団体として当局の認知を得るなど今日まで発展させてきたことに敬意と感謝を表します。



山下 潤

京都大学再生医科学研究所・幹細胞分化制御研究領域京都大学物質・細胞統合システム拠点・iPS細胞研究センター 准教授

再生医療の最前線 — ES細胞およびiPS細胞を用いた心臓・血管の再生 —

ES細胞(胚性幹細胞:embryonic stem cells)は、マウスやヒトの早期胚(胚盤胞)の段階において、将来胎仔を形成する内細胞塊と呼ばれる部位を取り出して樹立した細胞株であり、体中全ての種類の細胞に分化することのできる万能の幹細胞、iPS細胞(人工多能性幹細胞:induced pluripotent stem cells)の原型となる元祖・万能細胞と考えられる。

我々は、iPS細胞の出現などまだ遠く想像にも及ばない1998年頃からマウス、さらにはヒトES細胞を用いて心血管細胞の分化再生研究を行ってきた。すなわち、マウスES細胞から心血管細胞の新しい分化誘導法を開発し(Nature, 2000)、新たな心筋前駆細胞の同定に成功した(FASEB J, 2005)。また、ES細胞由来血管細胞移植による血管新生(Blood, 2003)、サルおよびヒトES細胞の心血管分化(Circulation, 2003; Arterioscler Thromb Vasc Biol, 2007)など、ES細胞の臨床応用へ向けた研究を展開している。

最近、京都大学山中教授らにより樹立されたiPS細胞は、マウスやヒトの皮膚や肝臓・胃など種々の組織からES細胞と同等の能力を持つ幹細胞を誘導することに成功したもので(Cell, 2006; Cell, 2007他)、再生医療への応用等が大きく期待されている。我々はすでにマウスiPS細胞の心血管分化に成功した(Circulation, 2008)。また、ヒトiPS細胞の心血管細胞分化にも取り組んでおり、自己拍動するヒト心筋細胞の誘導にすでに成功している。マウスES細胞とマウスiPS細胞、ヒトES細胞とヒトiPS細胞は維持・分化においてほとんど同等の特性を有していると考えられた。今後のiPS細胞研究においては、ES細胞研究がその土台となり比較対象のスタンダードとなると考えられる。iPS細胞の出現によって、ES細胞研究は衰退するどころかさらにその重要性を増していると考えられる。ES細胞、iPS細胞研究の循環器領域における意義はやはり誘導した心血管細胞の再生治療への応用が中心的に期待される。我々は細胞移植に適した新しい細胞群の探索や細胞シート作製技術(東京女子医科大学との共同研究)の応用による移植法の開発などの取り組みを行っている。直接的な移植細胞としての応用以外にも、種々の疾患患者からiPS細胞を樹立し、そこから分化誘導した疾患特異的モデル細胞を構築することにより、これまでになかった形での病態解明や創薬治療応用などさまざまな形での臨床面への貢献が可能である。

クローン羊ドリーから10年を経て報告されたヒトiPS細胞樹立の報告がそれを上回る反響を持って迎えられたのは、こうしたiPS細胞の持つ応用範囲の広さのせいであろう。iPS細胞誘導技術が将来的に科学や社会に及ぼす影響は計り知れない。そこには当然功罪両面が生まれてくることになるが、それらはすべて科学者と社会が自ら責任を負うものである。極端な熱狂や批判に走ることなく冷静に且つ良識と叡知を持ってiPS細胞の今後に対応していくことが必要と考えられる。このような科学技術の進歩の中にあって我々がどのように対応していくべきかを含め、再生医療の今と明日を考察する。

■山下潤氏略歴

| | |
|----------|---------------------------|
| 1990年 | 京都大学医学部卒業 |
| 1990～93年 | 内科研修医・レジデント(京大病院、大阪赤十字病院) |
| 1993年 | 京都大学大学院医学研究科(現・内分泌代謝内科)入学 |
| 1998年 | 医学博士(京都大学) |
| 2000年 | 京都大学医学部分子遺伝学・助手 |
| 2002年 | 同・助教授 |
| 2003年 | 京都大学再生医科学研究所・助教授(現職) |
| 2007年 | 同・准教授(名称変更) |
| 2008年 | 京都大学iPS細胞研究センター・准教授(兼任) |



株式会社ノエビア
相談役 兼 最高顧問

鈴木 一成

当会発足60周年を迎えるにあたり名誉ある表彰を頂きましたのは身に余る光栄と心より御礼申し上げます。

私は1946年に中山太陽堂（現クラブ）に入社して化粧品業界に入り、発足間もない近畿化粧品技術者会に西郷宗之助氏を通じて関わりました。当会は1950年発足から徐々に技術的な活動が始まり、例会や講演会を通じて化粧品の技術向上を図りましたが、懇親にひとつの壁がありました。会員の懇親や交流こそ技術向上の機会であると思っていました。

大阪化粧品技術者会が正式に設立されたのが1964年10月8日。その原動力となったのが西郷宗之助、上野英三郎（丹頂、現マングム）、岸春雄（明色）、原田守男（テルミー、現カシー）、木原睦男（ピラス）、藤田幸男（モナ）、神代良明（テルミー）、立岡貞雄（三羽鶴、現クロバークスメイク）諸氏らでした。これらを振り返り、我々の大先輩を大功労者として深甚なる感謝の意を奉げたいと思います。

私は永年当会の幹事を務め、1991～1998年度まで副会長、1999～2000年度までは会長として当会の発展にいささか貢献できましたが、日本の技術者会が国際化粧品技術者連盟の一員となるため、当会が日本化粧品技術者会大阪支部、東京化粧品技術者会が東京支部として一本化されたため、当会最後の会長となりました。

会員諸氏のご協力により今日の発展があるとともに、長年、日光ケミカルズ様および岩瀬コスファ様には事務局としてお世話になっております。将来、当会も自力で事務局が持てるようになりたいですね。

お礼を兼ねて将来への希望を申し述べました。業界の発展、支部の益々発展を併せ祈り、御礼にかえます。

日本化粧品技術者会における経歴（上段は大阪支部）

- ・1969年～1990年 大阪化粧品技術者会 幹事
- ・1990年～1998年 大阪化粧品技術者会 副会長
- ・1999年～2000年 日本化粧品技術者会大阪支部（大阪化粧品技術者会）会長
- ・2001～ 日本化粧品技術者会大阪支部 相談役
- ・日本化粧品技術者会 副会長
- ・日本化粧品技術者会 優秀論文選考委員会 委員長
- ・第17回IFSCC横浜大会組織委員会 委員、学術・広報副委員長



ニホンサンテック株式会社
代表取締役

高木 慶一

（元 みずほ工業株式会社）

日本化粧品技術者会大阪支部創立60周年おめでとうございます。1999年末に50周年の記念行事が開催されてから、早や10年になり、その間、バブル崩壊から立直って来ましたが、今度はリーマンショック、人不足から大失業時代へ、政権交代と目まぐるしく変る時代となりました。幸い化粧品業界は、他の産業と比較すれば安定した産業でした。

しかし新興国の追上げもあり、日本は、当会の創立直後は欧米先進国から学ぶ時代でしたが、現在は世界をリードしてゆく立場になり、日本化粧品技術者会の存在が、益々重要になっております。IFSCC大会に於ても、初めてシドニー大会で受賞して以来、毎回最優秀賞その他の賞を頂いている事でも証明されています。

さて、私は大阪化粧品技術者会に入会して40数年になり、その間、幹事を1973年から30年間、日本化粧品技術者会の運営委員を1988年から14年間させて頂きました。IFSCC大会も1972年から延べ18回、中間大会5回参加しました。出席及び出展したことにより、海外の技術者と親交を深めると共に、多くの発表から機械の開発、販売のヒントを得た結果、世界の多くの化粧品工場で使用して頂くようになりました。

私の最後の仕事は、第24回IFSCC大阪大会を成功させる事でした。私は財務と接遇の担当で、絶対赤字にしない事をモットーに進めました。当時は円安の追風もあり、予想以上の2,000名を超える参加者があり、逆に若干の余剰金を残すことが出来ました。大阪は勿論、東京の会員の御協力、努力の賜物と深く感謝しております。日本化粧品技術者会大阪支部の益々の発展をお祈り致します。

日本化粧品技術者会における経歴（上段は大阪支部）

- ・1973年～2002年 日本化粧品技術者会大阪支部（大阪化粧品技術者会）幹事
- ・日本化粧品技術者会 運営委員
- ・第17回IFSCC横浜大会組織委員会 委員
- ・第24回IFSCC大阪大会組織委員会 財務部会 顧問



コーモトエンタープライズ 代表

河本 昌彦

(元 株式会社ナリス化粧品)

大阪支部創立60周年おめでとうございます。

日本の化粧品技術の進歩発展は、この日本化粧品技術者会によるところが大きく、世界の化粧品技術に大きな影響を及ぼしていることは周知の事実で、会員皆様と共に誇りに思っております。

化粧品は単なる一つや二つの技術だけでは、良いものは出来ない。私も今日まで多種多様の技術を当技術者会から学ぶことが出来、化粧品技術者として世の中に貢献できていることは大変感謝している次第です。

また運よく私が大阪支部幹事長の時に、いわゆる化粧品の国際学会 IFSCC 大阪大会が行われ、会員皆様の多大なご協力により、大成功に終わることができました。この度は忘れられない良き思い出として残っております。この度は創立60周年記念にあたり、功労賞を受賞とのことで、現在まで大したこともしていませんので身に余る思いです。誠にありがとうございます。

今後とも化粧品基礎技術講習会等を通じて後輩の指導に力を注ぎたいと考えております。また、沖縄から化粧品技術者会沖縄支部を作してほしいとの意見も出てきておりますので、微力ながら当大阪支部とともに努力して行く所存です。



長岡実業株式会社 顧問

渡邊 肇

(元 サンスター株式会社)

大阪支部60周年おめでとうございます。

化粧品技術者会には多才で素晴らしくまた楽しい仲間が沢山います。“共に歩み共に過ごす”いつの間にか20年近くになりました。お陰様で現在も亀の歩みをエルダーズで楽しみながら続けています。その上今回功労者に選ばれました事大変感謝をしています。ありがとうございます。

印象に残りますイベントは2006年10月開催の第24回国際化粧品技術者大阪大会です。初めての大阪開催で当初準備段階では大阪支部がコアになり実行計画を進めて来ました。裏話になりますが限られた予算枠で運営するためにいかに参加者を募るかが大きな課題でした。大阪は京都、東京に比べてグローバルに知名度が低いので海外からの参加者へのインパクトが弱い、過去開催地の中で最低の参加者にならないか、論文は予定通り集まるか、クロージングバンケットは大阪城で、などなど議論した事を昨日のように思い出します。

皆様ご存知のような結果で成功裏に閉会しました。この成功は一重に日本化粧品技術者会の一体化による英知の結集と総合力による偉大な成果です。“難波のど根性”？が示せた事がハッピー!!

今後大阪支部の創造力、行動力、友愛により日本化粧品技術者会の益々のご発展に寄与してください。

日本化粧品技術者会における経歴 (上段は大阪支部)

- ・1999年～2000年 日本化粧品技術者会大阪支部 副幹事長
- ・2001年～2006年 日本化粧品技術者会大阪支部 幹事長
- ・2008年～ 日本化粧品技術者会大阪支部 相談役
-
- ・日本化粧品技術者会 副会長
- ・日本化粧品技術者会 運営委員
- ・日本化粧品技術者会優秀論文選考委員会 副委員長
- ・日本化粧品技術者会セミナー委員会 委員
- ・第24回IFSCC大阪大会組織委員会 副委員長

日本化粧品技術者会における経歴 (上段は大阪支部)

- ・1989年～1994年 大阪化粧品技術者会 幹事
- ・1993年度 日本化粧品技術者会 運営委員
- ・1999年 大阪化粧品技術者会50年の歩み 記念事業本部 委員
- ・1999年～2002年 日本化粧品技術者会 運営委員
- ・1999年～2004年 日本化粧品技術者会大阪支部 (大阪化粧品技術者会) 副幹事長
-
- ・第24回IFSCC大阪大会 プログラム部会 顧問



功労者
紹介



株式会社ペリカ 代表取締役

藤井 泰伸

(元 株式会社永廣堂本店)

私が初めてこの会に参加させて頂いたのは多分20代後半だったと思います。

今でも鮮明に覚えていますのは秋の研修会でした。大阪から船に乗り白浜方面へ行った時でした、まだ参加者が50名にも満たなかったと思います。諸先輩方の中に入り、いろいろご教授いただいた記憶があります。

それから約30年たったいま、100名を超える方々が参加され若い人たちも多くなり、ますます盛況になってきており非常にうれしく思います。

また、先日事務局より「あなたは18年間幹事をしていましたよ」と連絡を受けた時、こんなに長く勤めさせていただいていたのかと改めて思いました。これも皆様のお陰で大過なく勤められ、感謝せずにはいられませんでした。

これからもこの会がますます発展することを期待しています。私も、会のために非力ですがお役に立てればと思っています。



岩瀬コスファ株式会社 監査役

五十嵐 淳一

日本化粧品技術者会 大阪支部がますます発展のうちに創立60周年を迎えられました事を心よりお祝い申し上げます。

美しくなりたい、いつまでも美しく健康でありたいと願う想いは、未来永劫、私達人類の一番の願望ではないでしょうか。また、今の時代は心の安らぎが強く求められるようになり、人々はますます化粧品の機能に期待していく事でしょう。

40数年間、メンバーとして活動させて頂けた事は一重に諸先輩の御指導を賜りましたおかげと、厚く御礼申し上げます。ご存知のように当会は活動方針の一部に会員相互の交流と啓発をモットーとしております。40数年を振り返ってみますと、東西技術者会の積極的な交流、第17回IFSCC横浜大会の開催、第1回ASCS神戸大会、第1回化粧品産業技術展の開催、東西技術者会の一本化、SCCJセミナーの発足、第24回IFSCC大阪大会の開催等を通じ、東西技術者会の諸先輩方より貴重な薫陶を受けた事が私の人生の最大の財産となりました。

待ち望んでいた21世紀も早10年経過しましたが、今後、ますます技術の進歩は加速いたします。会員の皆様方の活動は、物理化学、生命科学、精神科学等に加え、豊かな感性、芸術的センスを持って商品開発を心がけて下さい。

皆様方のご活躍を願っております。

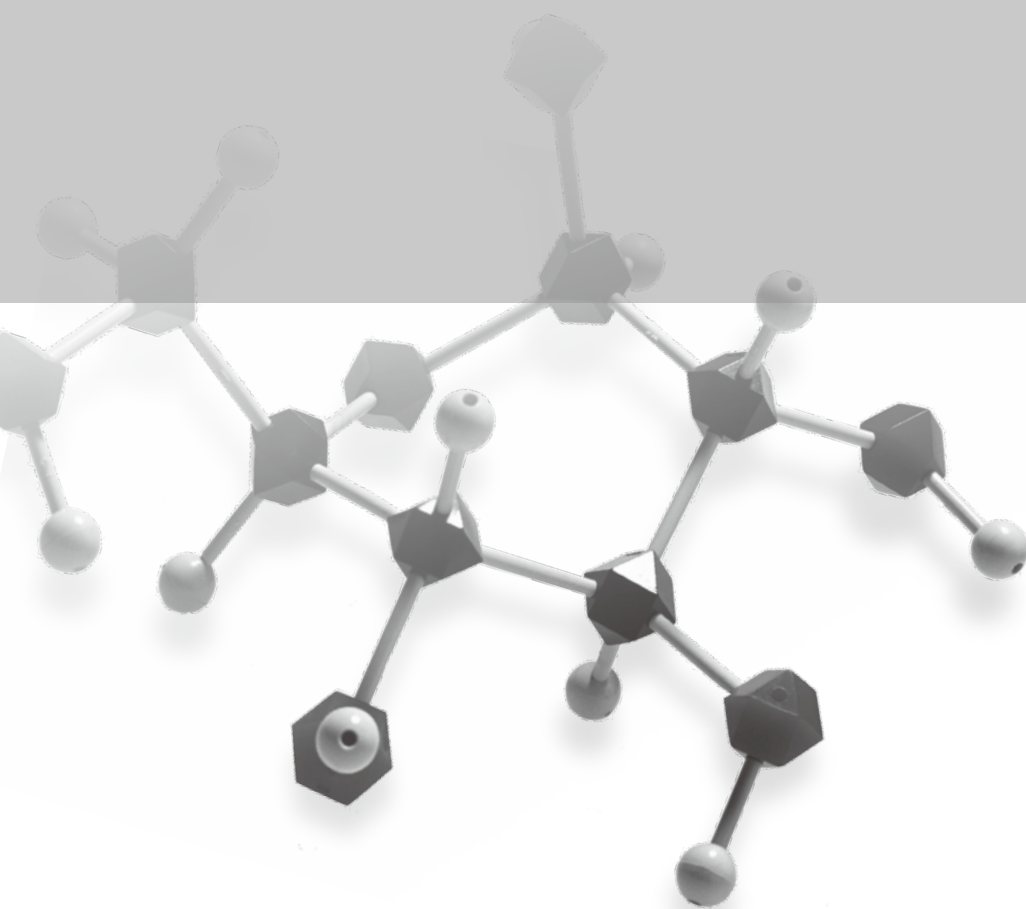
日本化粧品技術者会における経歴

- ・1987年～2004年 日本化粧品技術者会大阪支部（大阪化粧品技術者会）幹事 研究討論会担当、会計監査

日本化粧品技術者会における経歴（上段は大阪支部）

- ・1987年～2002年 日本化粧品技術者会大阪支部（大阪化粧品技術者会）幹事 会計担当、庶務担当
- ・日本化粧品技術者会 運営委員
- ・第17回IFSCC横浜大会組織委員会 委員
- ・第1回化粧品産業技術展 副委員長
- ・第24回IFSCC大阪大会統括小委員会 委員長

日本化粧品技術者会大阪支部
60年のあゆみ



年表

1949 (昭和 24) 年～ 2009 (平成 21) 年

1946 昭和 21 年 ▶▶▶

大阪支部の動き

'49. 6. - 近畿化粧品工業会の技術集団として「化粧品技術調査委員」を結成

'49.11.22 「近畿化粧品工業協同組合技術委員会」と改組

'50. 3.13 規約制定、「近畿化粧品技術者会」として新発足。初代幹事長・西郷宗之助

'52.10.24 第2回東西技術者連合研究懇談会を開催 (～ 25日、於・箕面)



西郷宗之助博士の講義原稿

'59.11.24 第1回研究発表会を開催 (於・中山太陽堂)



西郷宗之助博士を囲んで (1955年頃)

1960 昭和 35 年 ▶▶▶

SCCJの動き

'47.10. - 東京化粧品技術者会創立総会を開催

'52. 5.18 東西の連携を図るため、第1回東西技術者連合研究懇談会を開催 (～ 19日、於・熱海) 以後東西で交互に開催

'53.10.27 第3回東西技術者会を開催 (～ 28日)

'55.10.29 第5回東西技術者連合会を開催 (～ 30日)

'60. 4. 2 第10回東西技術者連合会を開催 (～ 3日)、国際化粧品技術者連盟 (IFSCC) への加盟が正式決定

'61. 5.27 東西技術者連合会を発展解消し、「日本化粧品技術者連合会 (JCCA)」を結成。第1回設立総会開催 (於・下呂、出席者・東西 64名)

'62. * 日本化粧品技術者連合会、第2回 IFSCC 大会にて正式加盟
'62.11. - 第1回技術シンポジウム開催。後の研究討論会、セミナーへと発展する

'63. 6. - 日本化粧品技術者連合会臨時役員会を開催、1968年に第5回 IFSCC 大会を日本で開催する件を承認
'63. 8. - 会誌『ジャーナル』創刊号を発行 (1969年までは年1回発行)



『ジャーナル』Vol.3 (1966年)



IFSCC 東京大会でのレセプション

'68. 5. - 第5回 IFSCC 東京大会開催 (於・東京プリンスホテル、参加者 25カ国約 600名)。IFSCC Award のシステム (優秀論文表彰) が日本の提案により制度化される

'66. 4.13 「大阪化粧品技術者協会」に名称変更



『大阪化粧品協会二十年の歩み』表紙

'68. 5. - 第5回 IFSCC 東京大会の開催に参画

'69. 2.24 第1回定期研究会を開催 (於・大阪科学技術センター)

'69. 4. 8 創立 20 周年記念祝賀会開催 (於・新大阪ホテル、出席者・111名)

'69. 4. 8 『大阪化粧品技術者協会二十年の歩み』発刊

業界の動き

'46. 6. 日本化粧品工業統制組合査定委員会技術部を設置

'47. 4. 日本化粧品工業統制組合解散、この技術部会が東京化粧品技術者会の母体

'47. 6. - 日本化粧品工業組合連合会発足

'47. 9. - 物価庁、化粧品の公定価格改正

'47. * ファンデーション登場

'52. 7. - 外国化粧品国内販売自由化

'59. 9. - 日本化粧品工業連合会発足

'59. 9. - IFSCC (国際化粧品技術者会連盟) ベルギーのブラッセルで結成 (8ヶ国参加)

'59. * アイシャドーが一般女性にも使用されるようになる

'60. * 化粧品のシーズンキャンペーンが導入される

'62. * この頃より、貿易自由化に備え、化粧品メーカーの製造設備近代化、流通機構の整備が加速

'65. * 高圧ガス取締法告示 (人体に使用できるガスは不燃ガスとする、エアゾール化粧品は燃性区分「微燃性」まで)

'67. * 外国製化粧品が本格的に日本市場へ進出

'69. * 訪問販売活動が活発化

社会一般の動き

'46.11. 3 日本国憲法公布

'51. 9. 1 民間ラジオ放送開始

'53. 8.28 民間テレビ放送開始

'53. * 真知子巻き流行

'49. 5.25 通商産業省発足

'49. 6. 1 日本工業規格 (JIS) 制定

'56. 7.17 経済白書、「もはや戦後ではない」と宣言

'56. * 白黒テレビ・洗濯機・冷蔵庫が「三種の神器」となる

'56. * 裕次郎&慎太郎カット、ポニーテール流行

'58. 5.16 テレビ受信契約 100 万台突破

8.25 インスタントラーメン発売

12.23 東京タワー完成

'60. 9.10 NHK・民放、カラーテレビ本放送開始

'63. 7. 5 名神高速道路 (尼崎-栗東間) 開業 (日本初の高速道路)

'65. 7. 1 名神高速道路、名古屋-神戸間全通

'67. * ミニスカート、パンタロン流行

'64.10. 1 東海道新幹線、東京-新大阪間開業

'64.10.10 第18回オリンピック・東京大会開催

'68.12. 1 3 億円事件発生

'68. * 日本の GNP、アメリカに次ぎ世界第 2 位に

'68. * 3C (カー・クーラー・カラーテレビ) 時代

'70. 5. - 第10回日本化粧品技術者連合会総会を開催(於・大阪万国博覧会ソ連館)

'71. 6.22 第1回技術講習会(現・化粧品技術基礎講習会)を開催(於・日経ホール、出席者・162名)



見学会：三洋電機岐阜工場(1973年)

'77. 2. - 定期研究会が発展的にSCCJ研究討論会に移行



研修会：堅田漁業組合(1973年)

'80. 5. 9 第30回総会において特別講演会開催「笑ってケチる金銭哲学」講師：吉本土地建物㈱社長 吉本晴彦

'84. 2. 8 講演会「サポニンあれこれ」講師：大阪大学薬学部教授 北川勲



研修会：三木化学工業(株)、ヤエガキ酒造見学(1980年)

'87. 9.10 講演会「1987年アメリカ化粧品の動向(化粧品のトイレタリー化)」講師：Dr.T.Joseph.Lin

'89.10.27 研修会：トヨタ自動車堤工場、世界デザイン博覧会(～10.28)

'70. 5. - 事務所をライオン歯磨内に設置

'76. 5. 5 第16回日本化粧品技術者連合会総会にて、本会の名称を「日本化粧品技術者会(SCCJ)」と改称

'76. 6. - 第9回IFSCCポストン大会にて日本がAward(最優秀論文賞)を初めて受賞

'76.11. - 第1回SCCJ研究討論会開催。東西を一本化し、東京、大阪交互に年2回開催へ

'81. 5. - 第21回SCJ総会にて第1回優秀論文表彰(55年に「SCCJ優秀論文選考規定」を策定)



'88. * 会誌『ジャーナル』年4回発行となる

'70. * 化粧品出荷高2000億円突破(72年には倍増)

'73. * 日本油脂工業会と日本家庭用合成洗剤工業会が合併、日本石鹸洗剤工業会設立

'71. * 日本歯磨工業会設立

'72. * 日本化粧品輸入組合設立

'78. * 弱酸性化粧品ブーム

'79. * 薬事法一部改正、製造番号、指定成分、使用期限、注意事項等の表示

'79. * 化粧品市場に異業種からの新規参入相次ぐ

'80. * 水乾両用のサマーファンデーションが出揃い、本格的サマーファンデーション戦争始まる

'80. * 化粧品企業の海外進出(現地法人設立)相次ぐ

'81. * 新薬事法施行

'81. * 化粧品原料においてバイオテクノロジーが注目される

'81. * 育毛剤の開発相次ぐ

'83. 4. - 新薬事法施行

'83. * ストレートパーマ登場

'85. 2. - 化粧品原料の一部改正、化粧品品質基準の一部改正、化粧品の許認可、包括許可制へ

'88. 5.20 フロン規制法公布施行

'88. * 化粧品用エアゾール噴射剤にフロンガスの代替としてLPGの使用が認められる

'70. 3.14 日本万国博覧会、大阪(千里丘陵)で開催

'70. * 雑誌『an・an』創刊

'70. * ジーンズ、Tシャツ流行

'73.10.23 第1次石油ショック

'74. 5.15 日本初のコンビニエンスストア、セブン-イレブンが東京に登場

'72. * 戦後第2次ベビーブーム

'75. * サーファーカット、ニュートラ(ハマトラ)ファッション流行

'77. 6. 3 改正独占禁止法公布

'79. 1.17 第2次石油ショック

'80. 9. 9 イラン・イラク戦争勃発

'81. 5. 1 日米自動車摩擦、対米輸出自主規制で決着

'81. * デザイナーズブランド誕生

'85. 4. 1 日本電信電話(NTT)と日本たばこ産業(JT)が発足

'85. 9.22 G5においてプラザ合意

'86. * 円高不況、低金利時代到来

'89. 1. 7 昭和天皇崩御(1.8 新元号「平成」に改元)

'89. 4. 1 消費税法が施行、消費税(3%)スタート

'87. * アメカジファッション流行

'87. * ワンレン、ボディコンファッション流行

'93. 6.16 第1回 ASCS 大会を開催、SCCJ の提案により実現 (～17日、於・神戸国際会議場)

第45回大阪化粧品技術者協会



第45回総会 (1994年)

'96. 2. - 第9回 SCCJ セミナーを東京と大阪で開催
'96. 3. - KOSMET 入門セミナーを東京と大阪で開催

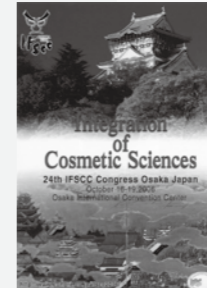


'99.11.5 創立50周年記念祝賀会開催 (於・コスモスクエア、ハイアットリージェンシー)
'99.11.5 『大阪化粧品技術者会50年の歩み』発刊

'00.12.7 創立50周年記念を機に第1回勉強会を開催

'01. 5. - 東京・大阪両化粧品技術者会の統一に伴い、「日本化粧品技術者会大阪支部」に改称

'03. 1.31 60歳以上の会員で構成されるエルダーズ会が発足



'06.10.16 第24回 IFSCC 大阪大会を開催 (～19日、於・大阪国際会議場、リーガロイヤルホテル、出席者2,010名)



化粧品技術基礎講習会 (2009年)

'05. * 会員・準会員・シニア会員制度が発足

'90.11. - 第29回 SCCJ 研究討論会を開催、初めてアジア地区に参加を呼びかけ、韓国・台湾より8件の研究発表、50人が参加 (93年の ASCS 大会開催へとつながる)

'93. 5. - 第33回 SCCJ 総会にて組織の大改正。部会を委員会と改称し、企画・学術・セミナー・優秀論文選考の4委員会の組織とする

'94. 8. - 『ジャーナル』が郵政省より学術刊行物の認可を受ける

'91.11. - 第1回 SCCJ セミナーを開催

'92.10.13 第17回 IFSCC 横浜大会を開催 (～16日、於・横浜国際平和会議場、参加者・34カ国1,604名)。日本、最優秀論文賞を受賞



'97. 5. - 特許庁より「発明の新規性喪失の例外」規定に関する学術団体に指定される
'97.12. - 発足50周年記念式典祝賀会開催

'01. 5. - 東京・大阪両化粧品技術者会が「日本化粧品技術者会」に統一され、東京支部、大阪支部に改称

'07. 5.16 第3回 CITE JAPAN を開催 (～18日、於・パシフィコ横浜、総入場者数・35,465名)

'02. 2. - ホームページ開設

'08. 4. - SCCJ のインターネット配信を開始

'03. 5.15 第1回 CITE JAPAN を開催 (～17日、於・パシフィコ横浜、総入場者数19,309名)

'09. 3.4 第4回 CITE JAPAN を開催 (～6日、於・パシフィコ横浜、総入場者数・40,828名)

'09. 3. - 第9回 ASCS 横浜大会を開催

'04. 6.15 第2回 CITE JAPAN を開催 (～17日、於・パシフィコ横浜、総入場者数23,326名)

'90. * 美白化粧品の開発相次ぐ

'91. * 日本化粧品工業連合会、「SPF 測定法基準」制定
'91. * 制度品メーカー、セルフ (低価格) 市場に参入

'97. 1. - 化粧品の再販制度、完全に撤廃
'97. 5. - 男性化粧品が登場

'99. * 育毛剤市場活性化
'99. * 化粧品通信販売メーカーの店頭販売参入相次ぐ

'01. 3. - 化粧品の全成分表示実施
'01. * 狂牛病問題発生、ウシ由来成分配合商品の回収

'07. 4.1 改正薬事法施行 (一般用医薬品のリスク区分)

'08. * 改正薬事法施行 (登録販売者試験制度)

'09. 6.1 改正薬事法全面施行 (医薬品販売制度、一般用医薬品の情報提供等)

'90. 4.1 大阪で国際花と緑の博覧会開催
'90.10.3 東西ドイツ、44年ぶりに統一
'90. * バブル崩壊
'90. * 茶髪ブーム

'93. * コギャルファッション流行

'98. 4.5 明石海峡大橋開通

'94. 7.1 製造物責任法 (PL法) 公布

'99. * ガングロメイク流行

'95. 1.7 阪神・淡路大震災発生

'97. 4.1 消費税率5%に引上げ
'97. 4.1 容器包装リサイクル法施行
'97. * 金髪が流行

'00. * ユニクロ、腰パン、厚底ブーツ流行

'03. 3.10 日経平均株価、約20年ぶりに8,000円割れ

'08. 9.15 米・大手証券会社リーマン・ブラザーズ、経営破綻、リーマンショック世界へ波及

'01. 9.11 米・ニューヨーク、ワシントンなどで同時多発テロ発生

'04. * セレブ系ファッション流行

'05. 2.16 1997年に採択された京都議定書発効

'09. * 新型インフルエンザ蔓延

'07.10.1 郵政民営化スタート

'92. 3.14 東海道新幹線に「のぞみ」登場
'92. * 落ちない口紅が大ヒット

支部規約第 17 条に規定される支部の意思決定機関であり、会計、人事や重要事項はここで審議・承認される。毎年、年度初めの 4 月に開催され、100 名以上の会員が出席。新役員の挨拶や各行事の報告の場としての役割も果たしている。

平成 12 年 4 月 20 日

第 51 回大阪化粧品技術者会総会

- ・大阪薬業年金会館
- ・出席者 103 名 委任状 128 名 会員数 387 名
- ・学術、一般会務、経費収支決算、大阪化粧品技術者会 50 周年記念事業収支決算報告
- ・大阪化粧品技術者会規約改正の件
- ・2006 年 IFSCC 日本大会が大阪で 10 月 16 日 (月) ～ 19 日 (木) の日程で開催される件の報告

平成 13 年 4 月 27 日

第 52 回大阪化粧品技術者会総会 (第 1 回日本化粧品技術者会大阪支部総会)

- ・大阪薬業年金会館
- ・出席者 110 名 委任状 165 名 会員数 396 名
- ・学術、一般会務、会計報告、幹事改選の件、新役員報告の件
- ・規約改定提案・採決の件：大阪化粧品技術者会より、日本化粧品技術者会大阪支部への組織変更、規約改定が承認

平成 14 年 4 月 26 日

第 2 回日本化粧品技術者会大阪支部 総会

- ・大阪薬業年金会館
- ・出席者 143 名 委任状 96 名 会員数 391 名
- ・事業報告、会計報告、会計監査選任に伴う規約改正の件
- ・2006 年 IFSCC 大阪大会の経過報告

平成 15 年 4 月 21 日

第 3 回日本化粧品技術者会大阪支部 総会

- ・大阪薬業年金会館
- ・出席者 101 名 委任状 126 名 会員数 393 名
- ・事業報告、会計報告、会計監査報告、幹事改選の件、新役員報告の件

平成 16 年 4 月 23 日

第 4 回日本化粧品技術者会大阪支部 総会

- ・大阪薬業年金会館
- ・出席者 113 名 委任状 139 名 会員数 417 名
- ・事業報告、会計報告、会計監査報告、事業計画 (案)、予算 (案)、規約改正の件
- ・2006 年 IFSCC 大阪大会の経過報告

平成 17 年 4 月 22 日

第 5 回日本化粧品技術者会大阪支部 総会

- ・大阪薬業年金会館
- ・出席者 108 名 委任状 137 名 会員数 432 名
- ・事業報告、会計報告、会計監査報告、事業計画 (案)、予算 (案)、幹事改選の件、新役員報告の件
- ・2006 年 IFSCC 大阪大会の経過報告

平成 18 年 4 月 20 日

第 6 回日本化粧品技術者会大阪支部 総会

- ・大阪薬業年金会館
- ・出席者 116 名 委任状 152 名 会員数 449 名
- ・事業報告、会計報告、会計監査報告、事業計画 (案)、予算 (案)

平成 19 年 4 月 18 日

第 7 回日本化粧品技術者会大阪支部 総会

- ・大阪薬業年金会館
- ・出席者 116 名 委任状 144 名 会員数 464 名
- ・事業報告、会計報告、会計監査報告、事業計画 (案)、予算 (案)、規約改定の件、幹事改選の件、新役員報告の件

平成 20 年 4 月 25 日

第 8 回日本化粧品技術者会大阪支部 総会

- ・琵琶湖グランドホテル
- ・出席者 180 名 委任状 124 名 会員数 469 名
- ・事業報告、会計報告、会計監査報告、事業計画 (案)、予算 (案)

平成 21 年 4 月 17 日

第 9 回日本化粧品技術者会大阪支部 総会

- ・大阪薬業年金会館
- ・出席者 125 名 委任状 145 名 会員数 481 名
- ・事業報告、会計報告、会計監査報告、事業計画 (案)、予算 (案)、幹事改選の件、新役員報告の件



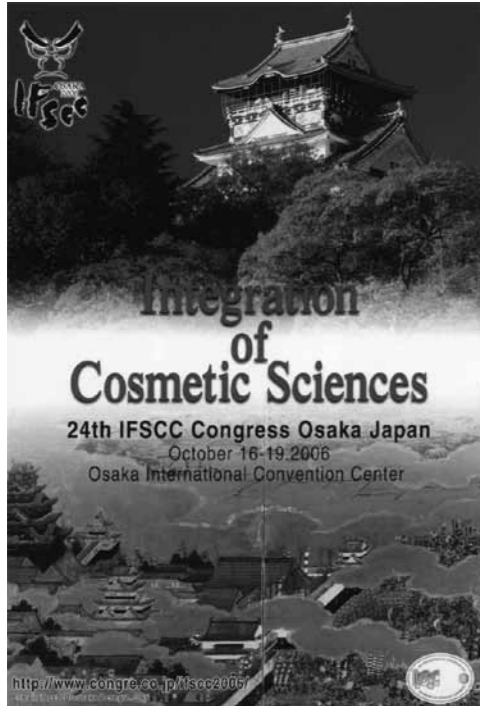
第 9 回大阪支部総会



第 9 回大阪支部総会後の講演会



14年ぶりに日本で開催された第24回 IFSCC 大阪大会。「Integration of Cosmetic Sciences」をテーマに掲げ、IFSCC 史上最多の参加者を大阪に迎え、336報の研究発表と115企業の技術展示が行われた。開催にあたっては、2000年に発足した組織委員会において大阪支部が大きな役割を果たし、大会を成功に導いた。



- 期間 2006年10月16日(月)～10月19日(木) 4日間
- 開催場所 大阪国際会議場、リーガロイヤルホテル
- 参加者 2,010名(日本;1,325名、フランス;133名、アメリカ;149名、ドイツ;57名、イギリス;23名、韓国;115名、その他;208名)

■10月16日(月)
オープニングセレモニー (大阪国際会議場メインホール)



日本化粧品技術者会 熊野会長による開会の挨拶



高円宮妃久子殿下のお言葉



碁の演奏



関西フィルハーモニー管弦楽団の演奏



レセプション会場

ウェルカムレセプション (リーガロイヤルホテル)



技術者会メンバーによるミニコンサート



■10月17日(火)・18日(水)
オーラル発表、ポスター発表、展示 (大阪国際会議場)



会場風景



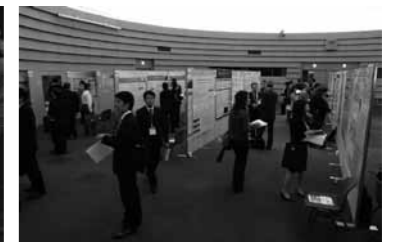
質疑の模様



質疑を受けるチェアマン



ポスター会場



ポスター会場

■10月17日(火)
ソーシャルレセプション (太閤園)



人間国宝吉田義助氏による文楽



尺八とギターの演奏



桂雀々氏による英語落語



古代着物ショー

■10月19日(木)
ガラパーティー (リーガロイヤルホテル)



ロボットによる開会宣言



太鼓パフォーマンス



IFSCC フラッグの引渡し



会場風景



アワード授与

講演会委員会では、化粧品および関連の科学技術の進歩向上に貢献すること、あわせて会員相互の交流と啓発を図ることを目的とし、学識経験者ほかの講師を招いて様々なテーマについて年に数回の講演会を開催している。

平成 12 年度

- 平成 12 年 4 月 20 日
「**禪と心と美**」
 - ・講師：京都大徳寺龍泉庵住職 松濤 諦雲
 - ・大阪薬業年金会館（出席者 103 名）

- 平成 12 年 8 月 2 日
「**生命と金属**」
 - ・講師：名古屋大学名誉教授 薬学博士 関西大学工学部教授 山内 脩
 - ・大阪薬業年金会館（出席者 52 名）

平成 13 年度

- 平成 13 年 9 月 4 日
「**内分泌攪乱物質をめぐる最近の動向**」
 - ・講師：星薬科大学薬品分析化学教室教授 中澤 裕之
 - ・大阪薬業年金会館（出席者 96 名）

- 平成 14 年 2 月 14 日
「**XYZ 系活性酸素消去発光による食と健康の検証**」
 - ・講師：東北大学大学院生命科学研究所 生命構造化学研究室 大久保 一良
 - ・大阪薬業年金会館（出席者 74 名）

平成 14 年度

- 平成 14 年 8 月 26 日
「**化粧品の微生物管理について**」
 - ・講師：(株)資生堂 研究開発本部安全性分析センター 微生物研究室室長 浅賀 良雄
 - ・大阪薬業年金会館（出席者 211 名）

- 平成 14 年 12 月 2 日
「**ナノテクノロジーにおける走査型プローブ顕微鏡技術**」
 - ・講師：京都大学工学研究科 電子物性工学専攻 助教授 山田 啓文
 - ・大阪薬業年金会館（出席者 69 名）

平成 15 年度

- 平成 15 年 4 月 21 日
「**再生医療の将来像—ある日シャーレのふたを開けたら、髪の毛がいっぱい生えていた！—**」
 - ・講師：近畿大学医学部第二生理学教室 教授 松尾 理
 - ・大阪薬業年金会館（出席者 101 名）

- 平成 15 年 9 月 2 日
「**美肌をつくる食をもとめて**」
 - ・講師：大阪市立大学大学院 医学研究科皮膚病態学 助教授 小林 裕美
 - ・大阪薬業年金会館（出席者 90 名）

- 平成 15 年 12 月 10 日
「**ヒット商品を生み出すアプローチ『魅力工学』**」
 - ・講師：関東学院大学人間環境学部 人間環境デザイン学科教授 讃井 純一郎
 - ・大阪薬業年金会館（出席者 95 名）

平成 16 年度

- 平成 16 年 4 月 23 日
「**細胞の働きを活性化するポリアミンの効用と副作用**」
 - ・講師：千葉大学大学院 薬学研究院教授 五十嵐 一衛
 - ・大阪薬業年金会館（出席者 113 名）

- 平成 16 年 10 月 1 日
「**皮膚の病理、そして宇宙飛行**」
 - ・講師：慶應義塾大学医学部助教授 病理診断部長 向井 万起男
 - ・大阪薬業年金会館（出席者 72 名）

- 平成 16 年 12 月 8 日
「**動物実験代替法に関する国際動向と開発の現状**」
 - ・講師：日本化粧品工業連合会 安全性部会長 兼 動物実験代替専門委員長 豊田 英一
 - ・大阪薬業年金会館（出席者 108 名）

平成 17 年度

- 平成 17 年 4 月 22 日
「**水の通り道—アクアポリン—**」
 - ・講師：東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 腎臓内科学教授 佐々木 成
 - ・大阪薬業年金会館（出席者 108 名）

- 平成 17 年 9 月 1 日
「**美容皮膚科 最前線**」
 - ・講師：医療法人美咲会理事長 ふくずみ形成外科院長 吹角 善隆
 - ・大阪薬業年金会館（出席者 75 名）

- 平成 18 年 2 月 17 日
「**抗酸化食品の多彩な機能**」
 - ・講師：名古屋大学大学院 生命農学研究科応用分子生命科学専攻助教授 内田 浩二
 - ・大阪薬業年金会館（出席者 66 名）

平成 18 年度

- 平成 18 年 4 月 20 日
「**成熟市場における商品開発の役割と視点—商品・ブランドのクオリアが人々の消費心を引き出す—**」
 - ・講師：東北芸術工科大学デザイン工学部 メディア・コンテンツデザイン学科 情報計画コース教授 平林 千春
 - ・大阪薬業年金会館（出席者 116 名）

- 平成 19 年 2 月 9 日
「**カロテノイド研究における最近の知見—アスタキサンチンを中心として—**」
 - ・講師：九州共立大学大学院 工学研究科教授 工学部生物物質化学科学科長 富田 純史
 - ・大阪薬業年金会館（出席者 77 名）

平成 19 年度

- 平成 19 年 4 月 18 日
「**トライボロジーから見た化粧品—コスメチック・トライボロジー—**」
 - ・講師：首都大学東京（都立科技大）非常勤講師 教授待遇 広中 清一郎
 - ・大阪薬業年金会館（出席者 116 名）

- 平成 19 年 9 月 12 日
「**三相乳化法の原理と応用：化粧品への応用例**」
 - ・講師：神奈川大学工学部教授 田嶋 和夫
 - ・大阪薬業年金会館（出席者 140 名）

- 平成 20 年 1 月 30 日
「**遺伝子レベルでみる老化と抗加齢ドックの将来—遺伝子レベルでの老化の考察と健康長寿を実現させる為の究極の予防医学に関して—**」
 - ・講師：東海大学医学部 基礎医学系分子生命科学教授 石井 直明
 - ・大阪薬業年金会館（出席者 81 名）

平成 20 年度

- 平成 20 年 9 月 3 日
「**紫外線による皮膚損傷とその対策**」
 - ・講師：神戸大学名誉教授 サンクリニック院長 市橋 正光
 - ・大阪薬業年金会館（出席者 136 名）

- 平成 21 年 1 月 29 日
「**広告に関する最近の話題について**」
 - ・講師：(株)日本広告審査機構 審査部 業務課長 宮本 和洋
 - ・大阪薬業年金会館（出席者 204 名）

平成 21 年度

- 平成 21 年 9 月 8 日
「**微細藻類（マイクロアルジェ）の応用研究と将来展望 —環境問題・食糧・健康・美容の救世主として—**」
 - ・講師：マイクロアルジェコーポレーション(株) 代表取締役 竹中裕行
 - ・大阪薬業年金会館（出席者 54 名）

主に若手の化粧品技術者・研究員を対象に年に一回開催。化粧品関連業界に入社した新入社員も参加して化粧品技術の基礎を学ぶことができる。

平成 12 年 7 月 6 日～7 日

第 30 回化粧品技術基礎講習会

ドーンセンター 参加者 208 名

■ 第 1 日目

- 業界概況と関連法規（規制緩和を含めて）…………… 近畿化粧品工業会 専務理事 香月 英男
- 化粧品総論…………… 株式会社マンダム 品質保証室 室長 松山 金豊
- 化粧品と物性…………… 株式会社ノエビア 農学博士 鈴木 一成
- 化粧品と界面活性剤…………… 日光ケミカルズ株式会社 大阪支店長 田端 勇仁
- 化粧品と皮膚科学…………… 国立大阪病院 皮膚科アレルギー科部長 医学博士 小塚 雄民

■ 第 2 日目

- 化粧品用色素…………… 大東化成工業株式会社 工場長 池本 猛
- 化粧品用香料…………… 小川香料株式会社 研究情報部 次長 作田 圭亮
- 容器・包装の品質設計について…………… サンスター株式会社 ヘルス&ビューティー事業本部 生産部技術グループ 課長（包装管理士）片岡 豊
- 化粧品用製造機械…………… みづほ工業株式会社 工学博士 高木 和行
- 化粧品と品質…………… 大阪資生堂株式会社 技術部長 長澤 健二

平成 13 年 7 月 5 日～6 日

第 31 回化粧品技術基礎講習会

ドーンセンター 参加者 245 名

■ 第 1 日目

- 化粧品と薬事法…………… 大阪府健康福祉部 業務課 課長 織田 美夫
- 業界概況と関連法規…………… 近畿化粧品工業会 専務理事 香月 英男
- 化粧品総論…………… 株式会社ナリス化粧品 常務取締役 河本 昌彦
- 化粧品と物性…………… 株式会社ノエビア 農学博士 鈴木 一成
- 化粧品と界面活性剤…………… 日光ケミカルズ株式会社 大阪支店長 田端 勇仁
- 化粧品用香料…………… 株式会社永廣堂本店 営業企画部長 前川 喜美

■ 第 2 日目

- 化粧品用色素…………… 大東化成工業株式会社 工場長 池本 猛
- 容器・包装の品質設計について…………… サンスター株式会社 ヘルス&ビューティー事業本部 生産部技術グループ 課長（包装管理士）片岡 豊
- 化粧品用製造機械…………… みづほ工業株式会社 工学博士 高木 和行
- 化粧品と皮膚科学…………… 医療法人今心会 田邊皮膚科外科 医学博士 小塚 雄民
- 化粧品と品質…………… 大阪資生堂株式会社 取締役技術部長 佐々木 公夫

平成 14 年 7 月 4 日～5 日

第 32 回化粧品技術基礎講習会

ドーンセンター 参加者 285 名

■ 第 1 日目

- 化粧品と薬事法…………… 大阪府健康福祉部業務課 課長 織田 美夫
- 業界概況と関連法規…………… 近畿化粧品工業会 専務理事 香月 英男
- 化粧品総論…………… 株式会社ナリス化粧品 常務取締役 河本 昌彦
- 化粧品と物性…………… 株式会社ノエビア 農学博士 鈴木 一成
- 皮膚科学と美容皮膚科学…………… 日野クリニック皮膚科アレルギー科 医学博士 小塚 雄民
- 化粧品用香料…………… 塩野香料株式会社 フレグランス開発部 部長 山川 喜紀

■ 第 2 日目

- 化粧品用色素…………… 大東化成工業株式会社 工場長 池本 猛

- 容器・包装の品質設計について…………… サンスター株式会社 オーラルケア事業本部 生産部技術グループ 課長（包装管理士）片岡 豊

- 化粧品用製造機械…………… みづほ工業株式会社 工学博士 高木 和行
- 化粧品と界面活性剤…………… 日光ケミカルズ株式会社 大阪支店長 田端 勇仁
- 化粧品と品質…………… 株式会社資生堂 生産本部生産技術開発センター 次長 佐々木 公夫

平成 15 年 7 月 3 日～4 日

第 33 回化粧品技術基礎講習会

ドーンセンター 参加者 320 名

■ 第 1 日目

- 化粧品と薬事法…………… 大阪府健康福祉部業務課 課長 織田 美夫
- 業界概況と関連法規…………… 近畿化粧品工業会 専務理事 香月 英男
- 化粧品総論…………… 株式会社ナリス化粧品 常務取締役 河本 昌彦
- 化粧品と界面活性剤…………… 日光ケミカルズ株式会社 顧問 ニッコールグループ株式会社ニコダームリサーチ 代表取締役社長 田端 勇仁
- 皮膚科学と美容皮膚科学…………… 日野クリニック皮膚科アレルギー科 院長 医学博士 小塚 雄民
- 化粧品と品質…………… 株式会社資生堂 大阪工場 技術部長 杉山 康夫

■ 第 2 日目

- 化粧品と物性…………… 株式会社ノエビア 相談役最高顧問 農学博士 鈴木 一成
- 化粧品用香料…………… 小川香料株式会社 フレグランス営業部 係長 大平原 一高
- 化粧品用色素…………… 大東化成工業株式会社 工場長 池本 猛
- 化粧品と心理…………… 株式会社資生堂 ビューティーサイエンス研究所 ソフト戦略グループ 参事 阿部 恒之
- 容器・包装の品質設計…………… サンスター株式会社高槻工場 オーラルケア事業本部技術グループ パッケージチーム 課長（包装管理士）片岡 豊
- 化粧品用製造機械…………… みづほ工業株式会社 常務取締役 工学博士 高木 和行

平成 16 年 7 月 8 日～9 日

第 34 回化粧品技術基礎講習会

ドーンセンター 参加者 321 名

■ 第 1 日目

- 化粧品と薬事法…………… 大阪府健康福祉部業務課 課長 織田 美夫
- 化粧品と心理…………… 株式会社資生堂 ビューティーサイエンス研究所 ソフト戦略・計画グループ 主任研究員 文学博士 阿部 恒之
- 化粧品総論…………… 株式会社ナリス化粧品 常務取締役 河本 昌彦
- 化粧品と界面活性剤…………… 日光ケミカルズ株式会社 理事 田端 勇仁
- 化粧品と品質…………… 株式会社資生堂 大阪工場 中味技術グループ リーダー 龍田 真伸
- 皮膚科学と美容皮膚科学…………… 日野クリニック皮膚科・アレルギー科 院長 医学博士 小塚 雄民

■ 第 2 日目

- 業界概況と関連法規…………… 西日本化粧品工業会 専務理事 香月 英男
- 化粧品用香料…………… 株式会社永廣堂本店 営業企画部 部長 前川 喜美
- 化粧品用色素…………… 大東化成工業株式会社 工場長 池本 猛
- 化粧品と物性…………… 株式会社ノエビア 相談役最高顧問 農学博士 鈴木 一成
- 容器・包装の品質設計…………… サンスター株式会社 オーラルケア事業本部 高槻工場 技術グループ パッケージチーム課長 包装管理士 片岡 豊

- 化粧品用製造機械…………… みづほ工業株式会社 常務取締役 工学博士 高木 和行

平成17年6月9日～10日

第35回化粧品技術基礎講習会 ドーンセンター 参加者433名

■ 第1日目

| | |
|-------------|----------------------------------|
| 化粧品と薬事法 | 大阪府健康福祉部業務課 課長 織田 美夫 |
| 業界概況と関連法規 | 西日本化粧品工業会 専務理事 香月 英男 |
| 化粧品総論 | 株式会社ナリス化粧品 常務取締役 河本 昌彦 |
| 化粧品と界面活性剤 | 日光ケミカルズ株式会社 新生産技術開発室 室長 田端 勇仁 |
| 皮膚科学と美容皮膚科学 | 日野クリニック皮膚科アレルギー科 院長 医学博士 小塚 雄民 |
| 化粧品と品質 | 株式会社資生堂 大阪工場 中味技術グループ リーダー 龍田 真伸 |

■ 第2日目

| | |
|------------|---|
| 化粧品用色素 | 大東化成工業株式会社 営業部主事 池本 猛 |
| 化粧品と心理 | 株式会社資生堂 ビューティーサイエンス研究所 ソフト戦略グループ 参事 阿部 恒之 |
| 化粧品用香料 | 塩野香料株式会社 フレグランス開発部 部長 岡本 健 |
| 化粧品と物性 | 株式会社ナリス化粧品 常務取締役 河本 昌彦 |
| 容器・包装の品質設計 | サンスター株式会社 静岡工場 工場長 片岡 豊 |
| 化粧品用製造機械 | みづほ工業株式会社 常務取締役 工学博士 高木 和行 |

平成18年7月6日～7日

第36回化粧品技術基礎講習会 ドーンセンター 参加者408名

■ 第1日目

| | |
|-------------|--------------------------------|
| 化粧品と薬事法 | 大阪府健康福祉部業務課 課長 藤田 敬三 |
| 業界概況と関連法規 | 西日本化粧品工業会 専務理事 香月 英男 |
| 化粧品総論 | 株式会社ナリス化粧品 常務取締役 河本 昌彦 |
| 化粧品と界面活性剤 | 日光ケミカルズ株式会社 理事 田端 勇仁 |
| 化粧品と品質 | 株式会社資生堂 大阪工場 技術部長 増田 豊彦 |
| 皮膚科学と美容皮膚科学 | 日野クリニック皮膚科アレルギー科 院長 医学博士 小塚 雄民 |

■ 第2日目

| | |
|------------|---|
| 化粧品と心理 | 東北大学大学院 文学研究科助教授 文学博士 阿部 恒之 |
| 化粧品用色素 | 大東化成工業株式会社 営業部主事 池本 猛 |
| 化粧品用香料 | 小川香料株式会社 フレグランス開発研究所 研究企画グループ シニアマネジャー 今野 悦郎 |
| 化粧品と物性 | 株式会社ノエビア 農学博士 鈴木 一成 |
| 容器・包装の品質設計 | サンスター株式会社 生産部外注管理グループ 課長 片岡 豊 |
| 化粧品用製造機械 | みづほ工業株式会社 常務取締役 工学博士 高木 和行 |

平成19年7月5日～6日

第37回化粧品技術基礎講習会 大阪商工会議所 参加者438名

■ 第1日目

| | |
|-------------|--------------------------------|
| 化粧品と薬事法 | 大阪府健康福祉部業務課 課長 藤田 敬三 |
| 業界概況と関連法規 | 西日本化粧品工業会 専務理事 香月 英男 |
| 化粧品総論 | 東洋ビューティ株式会社 常務取締役 柴山 裕治 |
| 化粧品と界面活性剤 | 日光ケミカルズ株式会社 理事 田端 勇仁 |
| 化粧品と品質 | 株式会社資生堂 大阪工場 技術部長 増田 豊彦 |
| 皮膚科学と美容皮膚科学 | 日野クリニック皮膚科アレルギー科 院長 医学博士 小塚 雄民 |

■ 第2日目

| | |
|------------|-------------------------------|
| 化粧品と心理 | 東北大学大学院 文学研究科助教授 文学博士 阿部 恒之 |
| 化粧品用色素 | 大東化成工業株式会社 営業部主事 池本 猛 |
| 化粧品用香料 | 株式会社永廣堂本店 営業企画部 前川 喜美 |
| 化粧品と物性 | 株式会社ノエビア 農学博士 鈴木 一成 |
| 容器・包装の品質設計 | サンスター株式会社 生産部外注管理グループ 課長 片岡 豊 |
| 化粧品用製造機械 | みづほ工業株式会社 常務取締役 工学博士 高木 和行 |

平成20年7月10日～11日

第38回化粧品技術基礎講習会 大阪商工会議所 参加者456名

■ 第1日目

| | |
|-------------|---------------------------------|
| 化粧品と薬事法 | 大阪府健康福祉部業務課 課長 藤田 敬三 |
| 業界概況と関連法規 | 西日本化粧品工業会 専務理事 香月 英男 |
| 化粧品総論 | 東洋ビューティ株式会社 常務取締役 柴山 裕治 |
| 化粧品と界面活性剤 | 日光ケミカルズ株式会社 理事 田端 勇仁 |
| 化粧品用色素 | 大東化成工業株式会社 営業部主事 池本 猛 |
| 皮膚科学と美容皮膚科学 | 日野クリニック皮膚科アレルギー科 院長 医学博士 小塚 雄民 |
| 化粧品と特許制度 | 日本化粧品工業連合会特許委員会委員 株式会社資生堂 稲田 竜平 |

■ 第2日目

| | |
|------------|-----------------------------------|
| 化粧品と心理 | 東北大学大学院 文学研究科准教授 文学博士 阿部 恒之 |
| 化粧品用香料 | 塩野香料株式会社 フレグランス事業部 営業部長 岡本 健 |
| 容器・包装の品質設計 | サンスター株式会社 技術部 パッケージグループ長 中塚 裕久 |
| 化粧品と品質 | 株式会社資生堂 大阪工場 技術部検査グループ リーダー 中本 武司 |
| 化粧品と物性 | 株式会社ノエビア 農学博士 鈴木 一成 |
| 化粧品用製造機械 | みづほ工業株式会社 常務取締役 工学博士 高木 和行 |

平成21年7月9日～10日

第39回化粧品技術基礎講習会 大阪商工会議所 参加者409名

■ 第1日目

| | |
|-------------|-------------------------------------|
| 化粧品と薬事法 | 大阪府健康福祉部業務課 課長 山本 繁富 |
| 業界概況と関連法規 | 西日本化粧品工業会 専務理事 香月 英男 |
| 商品開発概論 | 日本化粧品技術者会大阪支部 相談役 河本 昌彦 |
| 皮膚のしくみ | 日本コルマー株式会社 研究第1部 マネジャー 徳永 俊輔 |
| スキンケア概論 | 御木本製薬株式会社 研究開発部長 前山 薫 |
| ヘアケア概論 | 株式会社マンダム 第一開発研究室 主任 伊澤 禎二 |
| 化粧品と界面活性剤 | 花王・ビューティケア研究センター ケアビューティ第1研究室 大窪 幸治 |
| 皮膚科学と美容皮膚科学 | 日野クリニック皮膚科アレルギー科 院長 医学博士 小塚 雄民 |
| 化粧品の有用性 | 株式会社コスモステクニカルセンター 基盤技術開発部 岡野 由利 |

■ 第2日目

| | |
|------------|--|
| 化粧品と心理 | 東北大学大学院 文学研究科准教授 文学博士 阿部 恒之 |
| メイクアップ概論 | 株式会社ナリス化粧品 研究開発部 部長 鷲尾 豊 |
| 化粧品と粉体 | 大東化成工業株式会社 営業部主事 池本 猛 |
| 容器・包装の品質設計 | サンスター株式会社 技術部 パッケージグループ長 中塚 裕久 |
| 化粧品用香料 | 小川香料株式会社 フレグランス事業本部 FR 研究開発部調香 1G 吉田 啓 |
| 化粧品と特許制度 | 日本化粧品工業連合会 特許委員会委員 サンスター株式会社 清水 一人 |
| 化粧品と品質 | 株式会社資生堂 大阪工場 管理グループ・リーダ 次長 伊藤 克英 |
| 化粧品用製造機械 | みづほ工業株式会社 常務取締役 工学博士 高木 和行 |

勉強会委員会は、化粧品技術者会大阪支部 50 周年記念として若手研究者の技術向上、交流、技術者会への参画促進を図る目的で設立され、平成 21 年度までに 12 回の勉強会が開催されている。

平成 12 年 12 月 7 日

第 1 回勉強会

大阪薬業年金会館 参加者 218 名

テーマ「21 世紀の化粧品素材」—新製品紹介—

- ・発表会：13 社発表
- ・情報交流会

平成 14 年 1 月 24 日

第 2 回勉強会

大阪薬業年金会館 参加者 199 名

テーマ「21 世紀の化粧品素材」——新製品・新技術紹介—

- ・発表会：13 社発表
- ・展示コーナー、情報交流会

平成 14 年 9 月 17 日

第 3 回勉強会

大阪薬業年金会館 参加者 76 名

- ・講演：「化粧品の微生物管理の実務について——次汚染検査と二次汚染対策の問題点—」
(株)資生堂 製品開発本部 安全性・分析センター 微生物研究室長 浅賀 良雄
- ・ワークショップ：分析・微生物管理・検査キット会社 発表
栄研器材(株)「化粧品微生物検査用培地と基礎的知識」
日本電子照射サービス(株)「電子線滅菌の特長と化粧品関連品への利用展望について」
日水製薬(株)「製品の微生物衛生管理について」
- ・展示コーナー、情報交流会

平成 16 年 6 月 21 日

第 4 回勉強会

大阪薬業年金会館 参加者 84 名

- ・講演：「香料の安全性」
長谷川香料(株) 品質保証部 浅越 亨（香料工業会 IFRA 特命委員）
- 「合成ムスクの最近の使用傾向」
高砂香料工業(株) フレグランス企画部 鈴木 隆
- 「天然香料の機能性を探る」
京都薬科大学 代謝分析学教室 教授 桜井 弘
- 「天然香料—魅惑の香りを極める—」
山本香料(株) 山本 芳邦
- ・ワークショップ、情報交流会

平成 16 年 11 月 16 日

第 5 回勉強会

大阪薬業年金会館 参加者 64 名

- ・講演：「シワの計測法」
(株)資生堂 ライフサイエンスセンター 生態計測研究所長 高橋 元次
- ・計測機器の企業によるプレゼンテーション・デモンストレーション発表：
(有)アサヒバイオメッド「陰影法によるレプリカシワ解析について」
クボテック(株)「シワレプリカ計測 三次元の解析」
- ・機材展示コーナー、情報交流会

平成 17 年 8 月 26 日

第 6 回勉強会

大阪薬業年金会館 参加者 78 名

- ・講演：「新規なメカニズムに基づく毛髪のハリコシ向上用トリートメント
～人工キューティクルを形成する自己架橋型ポリマーのデザイン～」
(株)資生堂 マテリアルサイエンス研究センター高分子科学研究所 宮沢 和之
- 「ダメージヘアに対する加水分解タンパクとその誘導体
18MEA（毛髪必須脂肪酸）並びにカチオン界面活性剤の効果について」
クローダジャパン(株) 営業本部 赤塚 龍司
- 「ケラチンタンパクの毛髪に及ぼす影響について」
一丸ファルコス(株) 製品開発部 池田 隆
- 「加水分解タンパク及びシリコーンレジンハイブリッドポリマーの損傷毛髪への応用」
(株)成和化成 研究開発部 植原 計一
- ・情報交流会

平成 18 年 2 月 22 日

第 7 回勉強会

大阪薬業年金会館 参加者 59 名

- ・講演：「商品開発のはなし」
元(株)コーセー 常務取締役 研究本部長 宿崎 幸一
- 「研究開発とマーケティングのインターフェイスマネジメントのポイント」
(株)ベルヴィーヌ 南野 美紀
- ・ワークショップ、情報交流会

平成 19 年 2 月 23 日

第 8 回勉強会

大阪薬業年金会館 参加者 112 名

- ・講演：「化粧品界面化学」
太陽化学(株)インターフェイス ソリューション事業部 研究開発グループ 岩永 哲朗
- 「最新乳化技術」
みづほ工業(株) 高木 和行
- 「化粧品の有用性評価」
(株)コスモステクニカルセンター 正木 仁
- ・情報交流会

平成 19 年 8 月 29 日

第 9 回勉強会

大阪商工会議所 参加者 108 名

- ・講演：『高齢化社会に向けて』
「皮膚と老化」
藤田保健衛生大学 医学部 准教授 赤松 浩彦
- 「薬剤の皮膚へのデリバリー」
神戸薬科大学 製剤学教室 北河 修治
- ・原料メーカー 3 社による発表：
(株)永廣堂本店、クローダジャパン(株)、日光ケミカルズ(株)
- ・ワークショップ、情報交流会

研修会

平成 12 (2000) 年～平成 21 (2009) 年 講師名は敬称略

勉強会/研修会

施設の見学や講演を聴くことにより業務に必要な知識や技術を高めるとともに、会員相互の親睦をはかることを目的として年1回、一泊二日の研修会を実施。毎回100名近い参加者があり、盛況・活発な研修会となっている。

平成 20 年 3 月 26 日

第 10 回勉強会 大阪薬業年金会館 参加者 117 名

- ・講演：『高齢化社会に向けて』
「顔と心と体について」
フェイシャルセラピスト かづき れいこ
「女性の肌状態とメイキャップの仕上がり効果」
日本光研工業(株) 開発センター 技術顧問 無類井 行男
「表面処理顔料粉体の機能性とそのメイキャップ化粧品への応用とポイントメイキャップ化粧品について」
大東化成工業(株) 常務取締役 研究開発・製造担当 田中 巧
- ・情報交流会

平成 20 年 8 月 28 日

第 11 回勉強会 大阪電気通信大学寝屋川キャンパス 参加者 105 名

- ・講演：『インターネット社会における化粧品開発の進め方 女性ニーズ、技術情報検索のヒント』
IPDL (特許電子図書館) 講習会
近畿経済産業局 大阪府立特許情報センター 特許情報活用支援アドバイザー 大野 健造
「化粧品技術に関連するデータベース紹介や検索ノウハウ」
(社)化学情報協会 上野 京子
「@ cosme 活用事例とクチコミから読み解く最新トレンド」
(株)アイスタイル 代表取締役 兼 @ cosme 主宰 山田 メユミ
- ・ワークショップ、情報交流会

平成 21 年 9 月 3 日

第 12 回勉強会 大阪薬業年金会館 参加者 67 名

- ・講演：「女性のハートをつかむ化粧品特性、有用性評価について」
(株)エフシージー総合研究所 取締役 菅沼 薫
- ・ワークショップ (グループ討論、アイデア発表)



勉強会風景



平成 12 年度

- 平成 12 年 10 月 27 日～28 日 (出席者 114 名)
- ・講演会
「IFSCC ベルリン大会の報告」
大阪化粧品技術者会会長 鈴木 一成
「ISO14001 取得について」
大阪資生堂(株) 舞鶴工場 総務部
部長 上田 全康
「化粧品における欧米消費者指向」
セフォラ・エーエーピー・ジャパン(株)
製薬担当ディレクター 黒田 能子
- ・伊勢・賢島宝生苑



平成 12 年度研修会 (伊勢・賢島宝生苑)

平成 13 年度

- 平成 13 年 11 月 9 日～10 日 (出席者 112 名)
- ・太陽化学(株)塩浜工場・研究所、南部工場 見学
- ・講演会
「食を通して健康を考える」
太陽化学(株) FI 事業部 小笠原 豊
- ・全日空ホテル・グランコート名古屋

平成 14 年度

- 平成 14 年 10 月 25 日～26 日 (出席者 91 名)
- ・(株)ヤクルト本社 京都工場 見学
- ・日本原子力発電(株) 敦賀原子力館 見学
- ・まつや千千 (芦原温泉)

平成 15 年度

- 平成 15 年 10 月 24 日～25 日 (出席者 88 名)
- ・ヤマサ蒲鉾(株) 夢前工場 見学
- ・天橋立ホテル

平成 16 年度

- 平成 16 年 9 月 17 日～18 日 (出席者 81 名)
- ・舞洲焼却工場 見学
- ・北淡町 野島断層保存館 見学
- ・四州園 (洲本温泉)

平成 17 年度

- 平成 17 年 10 月 21 日～22 日 (出席者 110 名)
- ・ライオン(株) 明石工場 見学
- ・雪印乳業(株) 関西チーズ工場 見学
- ・松園荘 (湯の花温泉)

平成 18 年度

- 平成 18 年 11 月 17 日～18 日 (出席者 110 名)
- ・大塚国際美術館 見学
- ・大塚製薬(株) 板野工場 見学
- ・琴参閣 (琴平温泉)

平成 19 年度

- 平成 19 年 10 月 26 日～27 日 (出席者 106 名)
- ・花王(株) 和歌山工場 見学
- ・中田食品工場 見学
- ・むさし (白浜温泉)

平成 20 年度

- 平成 20 年 9 月 19 日～20 日 (出席者 106 名)
- ・本田技研工業(株) 鈴鹿製作所 見学
- ・味の素(株) 東海事業所 見学
- ・グリーンホテル (湯の山温泉)

平成 21 年度

- 平成 21 年 11 月 6 日～7 日 (出席者 101 名)
- ・アサヒ飲料(株) 明石工場 見学
- ・オプトピア (スプリング 8) 見学
- ・輝乃湯 (湯原温泉)



平成 21 年度研修会 (スプリング 8 見学・写真提供: RIKEN/JASRI)

エルダース会は、60歳以上の技術者会の会員で構成される親睦会で、現在会員数は40名。現役をはなれ、社会、文化、経済、芸術等、SCCJの活動とは違ったジャンルでの講演会、見学会を年間3～4回開催している。

● 第1回 …………… 平成 15 年 1 月 31 日
発足会

● 第2回 …………… 平成 15 年 5 月 7 日
「焼物の話」
 SCCJ 大阪支部 幹事長 河本 昌彦

● 第3回 …………… 平成 15 年 8 月 29 日
サンタマリア号大阪港一周

● 第4回 …………… 平成 15 年 11 月 28 日
「終戦直後の化粧品業界の思い出」
 (株)クロバーコスメイク 故 立岡 貞雄

● 第5回 …………… 平成 16 年 2 月 27 日
「宝石よもやま話」
 (株)三星堂 植田 信廣

● 第6回 …………… 平成 16 年 7 月 23 日
「絵を描く喜び」
 (株)ノエビア 鈴木 一成

● 第7回 …………… 平成 16 年 8 月 26 日
ピアノ—ショパン—を楽しむ会
 SCCJ 大阪支部 副幹事長 吉岡 正人

● 第8回 …………… 平成 16 年 11 月 29 日
ワインを楽しむ会
 リーガロイヤル ソムリエ 三木 正一

● 第9回 …………… 平成 17 年 2 月 14 日
「古代の『壁画』について」
 —高松塚古墳の壁画を中心として—
 大東化成工業(株) 相談役 鶴田 栄一

● 第10回 …………… 平成 17 年 3 月 17 日
伏見・酒造所 北川本家富翁、寺田屋 見学

● 第11回 …………… 平成 17 年 7 月 29 日
**「上方文化における文楽・文楽鑑賞
 『接州合邦辻』」**
 日本ペンクラブ会員 上方文化研究家 井澤 壽治

● 第12回 …………… 平成 17 年 9 月 2 日
ピアノ—リスト—を楽しむ会
 SCCJ 大阪支部 副幹事長 吉岡 正人

● 第13回 …………… 平成 17 年 10 月 13 日
「巨大マグロを追う」
 (株)シミズ研究所 清水 久俊

● 第14回 …………… 平成 17 年 12 月 15 日
「薔薇についてバラバラの話」
 渡邊コンサルタント事務所 渡邊 肇

● 第15回 …………… 平成 18 年 4 月 4 日
「ブルガリア最大のイベント“薔薇祭り”」
 (株)ノエビア 鈴木 一成

● 第16回 …………… 平成 18 年 6 月 28 日
大川 水上バス、アクアライナー

● 第17回 …………… 平成 18 年 8 月 3 日
「くいだおれ」の街大阪巡りと文楽観賞
 戎橋～道頓堀～太左衛門橋～法善寺横町
 ～水かけ不動～文楽劇場 社会人のための文楽入門『夫婦善哉』鑑賞

● 第18回 …………… 平成 18 年 11 月 29 日
続「バイタルリアクトセラピーについて」
 風間整骨院院長 風間 文夫

● 第19回 …………… 平成 19 年 10 月 23 日
大徳寺塔頭 黄梅院、総見院拝観、京都散策
 高瀬川～木屋町通～三条先斗町～四条大宮

● 第20回 …………… 平成 20 年 7 月 8 日
中之島巡り
 日本銀行 大阪支店 内部見学、
 緒方洪庵旧宅 適塾、中央公会堂 地下見学

● 第21回 …………… 平成 20 年 12 月 1 日
上方落語と鯨料理を楽しむ
 落語・桂 米団治、桂 あさ吉

● 第22回 …………… 平成 21 年 2 月 3 日
「カテキンリッチ茶の話」
 (株)仁生堂 代表取締役 大村 梯治郎

● 第23回 …………… 平成 21 年 6 月 26 日
「ウミガメを通じてみる人間模様とエコ」
 日本ウミガメ協議会 会長
 東京大学大学院農学生命科学研究科
 客員准教授 亀崎 直樹

● 第24回 …………… 平成 21 年 11 月 10 日
「梅の健康増進作用」
 近畿大学先端技術総合研究所 教授 三谷 隆彦

● 平成 12 年 6 月 21 日
「第 15 回油脂・合成化学部会講演会」
 ・(株)日本油化学会 油脂・合成化学部会に協賛
 ・大阪市立工業研究所

● 平成 12 年 12 月 16 日
「食品健康科学シンポジウム 2000」
 ・(株)日本油化学会 食品健康科学部会に協賛
 ・帝塚山大学

● 平成 13 年 6 月 20 日・27 日
「第 16 回油脂・合成化学部会関西地区講演会」
 ・(株)日本油化学会 油脂・合成化学部会に協賛
 ・大阪市立工業研究所

● 平成 13 年 7 月 12 日～13 日
「第 41 回夏期セミナー日本油化学会関西支部」
 ・(株)日本油化学会関西支部に協賛
 ・ノエビア滋賀研修所

● 平成 13 年 12 月 15 日
「食品健康科学シンポジウム 2001」
 ・(株)日本油化学会 食品健康科学部会に協賛
 ・帝塚山大学

● 平成 14 年 5 月 23 日～24 日
「第 1 回関西フレッシュマンセミナー」
 ・(株)日本油化学会と共催
 ・大阪産業創造館

● 平成 14 年 7 月 11 日～12 日
「第 42 回夏期セミナー日本油化学会関西支部」
 ・(株)日本油化学会関西支部と共催
 ・花王(株) 有田研修所

● 平成 14 年 11 月 7 日～8 日
「第 46 回関西油化学講習会（油技術講座）」
 ・(株)日本油化学会関西支部に協賛
 ・大阪市立工業研究所

● 平成 14 年 11 月 20 日
「第 17 回油脂・合成化学部会関西地区講演会」
 ・(株)日本油化学会 油脂・合成化学部会に協賛
 ・大阪市立工業研究所

● 平成 14 年 12 月 14 日
「食品健康科学シンポジウム 2002」
 ・(株)日本油化学会 食品健康科学部会に協賛
 ・帝塚山大学

● 平成 15 年 1 月 17 日
「第 9 回界面科学部会 関西講演会」
 ・(株)日本油化学会 界面科学部会と共催
 ・大阪市立工業研究所

● 平成 15 年 7 月 31 日～8 月 1 日
「第 43 回夏期セミナー日本油化学会関西支部」
 ・(株)日本油化学会関西支部と共催
 ・花王(株) 有田研修所

● 平成 15 年 11 月 6 日～7 日
「第 47 回関西油化学講習会（油技術講座）」
 ・(株)日本油化学会関西支部に協賛
 ・大阪市立工業研究所

● 平成 15 年 12 月 13 日
「食品健康科学シンポジウム 2003」
 ・(株)日本油化学会 オレオサイエンス部会に協賛
 ・帝塚山大学

● 平成 16 年 6 月 15 日～16 日
セミナー「微粒子・薄膜材料と新素材」
 ・(株)大阪工研協会と共催
 ・大阪市立工業研究所

● 平成 16 年 7 月 28 日
「学術講演会」
 ・近畿化粧品原料協会と共催
 ・大阪薬業年金会館

● 平成 16 年 7 月 27 日～28 日
「第 44 回夏期セミナー日本油化学会関西支部」
 ・(株)日本油化学会関西支部と共催
 ・アマノ(株) 名張研修センター

● 平成 16 年 9 月 16 日
「オレオマテリアル部会・関西地区第2回講習会」
 ・(株)日本油化学会 オレオマテリアル部会に協賛
 ・大阪市立工業研究所

● 平成 17 年 6 月 2 日～3 日
**「日本油化学会フレッシュマンセミナー
 —油脂と脂質—」**
 ・(株)日本油化学会と共催
 ・大阪市立工業研究所

● 平成 17 年 6 月 24 日
「化粧品、洗浄剤における新しい技術動向」
 ・(株)大阪工研協会と共催
 ・大阪市立工業研究所

● 平成 17 年 7 月 12 日～13 日
「第 45 回夏期セミナー日本油化学会関西支部」
 ・(株)日本油化学会関西支部と共催
 ・花王(株) 有田研修所

● 平成 17 年 7 月 25 日
「学術講演会」
 ・近畿化粧品原料協会と共催
 ・大阪薬業年金会館

● 平成 17 年 7 月 29 日
「日本油化学会関西支部第 34 回特別講演会」
 ・(株)日本油化学会関西支部と共催
 ・大阪キャッスルホテル

● 平成 18 年 6 月 2 日～3 日
**「日本油化学会オレオマテリアル部会
 関西地区第3回講演会」**
 ・(株)日本油化学会オレオマテリアル部会と共催
 ・大阪市立工業研究所

- 平成18年7月24日
「日本油化学会関西支部第35回特別講演会」
・(株)日本油化学会関西支部と共催
・大阪キャッスルホテル
- 平成18年7月25日
「学術講演会」
・近畿化粧品原料協会と共催
・大阪薬業年金会館
- 平成18年8月5日
「日本油化学会関西支部油化学関連シンポジウム
in 徳島—油脂と健康—」
・(株)日本油化学会関西支部と共催
・四国大学交流プラザ
- 平成18年8月10日～11日
「第46回夏期セミナー日本油化学会関西支部」
・(株)日本油化学会関西支部と共催
・花王(株)有田研修所
- 平成18年12月8日
「日本油化学会関西支部油化学関連シンポジウム
in 金沢—生活の中の油脂—」
・(株)日本油化学会関西支部と共催
・金沢大学自然科学棟
- 平成18年12月13日～14日
「日本油化学会関西支部
第49回関西油化学講習会(油技術講座)」
・(株)日本油化学会関西支部に協賛
・大阪市立工業研究所
- 平成19年5月17日～18日
「日本油化学会フレッシュマンセミナー
osaka2007—油脂と脂質—」
・(株)日本油化学会関西支部と共催
・大阪市立工業研究所
- 平成19年6月1日～2日
「2007年油化学関連シンポジウム in 沖縄
—沖縄の資源と試薬開発—」
・(株)日本油化学会関西支部に協賛
・琉球大学 大学会館
- 平成19年6月29日
「界面科学関西セミナー」
・(株)大阪工研協会に協賛
・大阪市立工業研究所
- 平成19年7月26日
「学術講演会」
・近畿化粧品原料協会と共催
・大阪薬業年金会館
- 平成19年11月15日～16日
「日本油化学会関西支部
第50回関西油化学講習会(油技術講座)」
・(株)日本油化学会関西支部に協賛
・大阪市立工業研究所
- 平成20年5月15日～16日
「日本油化学会フレッシュマンセミナー
osaka2008—界面科学と界面活性剤—」
・(株)日本油化学会関西支部と共催
・大阪市立工業研究所
- 平成20年7月31日
「学術講演会」
・近畿化粧品原料協会と共催
・大阪薬業年金会館
- 平成20年9月25日～26日
「第47回夏期セミナー日本油化学会関西支部」
・(株)日本油化学会関西支部と共催
・花王(株)有田研修所
- 平成20年10月28日
「日本油化学会関西支部油化学関連シンポジウム
in 香川—油脂のおいしさ—」
・(株)日本油化学会関西支部に協賛
・サンポートホール高松
- 平成20年10月28日
「日本油化学会オレオマテリアル部会
関西地区講演会」
・(株)日本油化学会オレオマテリアル部会に協賛
・大阪市立工業研究所
- 平成20年11月26日
「日本油化学会・米国油化学会 FSFF
合同サンライトシンポジウム」
・(株)日本油化学会に協賛
・京都テルサ
- 平成21年7月28日
「学術講演会」
・近畿化粧品原料協会と共催
・大阪薬業年金会館
- 平成21年8月21日
「界面科学関西セミナー」
・(株)大阪工研協会に協賛
・大阪市立工業研究所
- 平成21年10月9日
「日本油化学会オレオマテリアル部会
関西地区講演会」
・(株)日本油化学会オレオマテリアル部会に協賛
・大阪市立工業研究所
- 平成21年11月12日～13日
「日本油化学会関西支部
第51回関西油化学講習会(油技術講座)」
・(株)日本油化学会関西支部に協賛
・大阪市立工業研究所

資料編



日本化粧品技術者会（SCCJ）の概要

■本部 〒224-8558 横浜市都筑区早渕2-2-1 資生堂リサーチセンター内
TEL:045-590-6025 FAX:045-590-6093

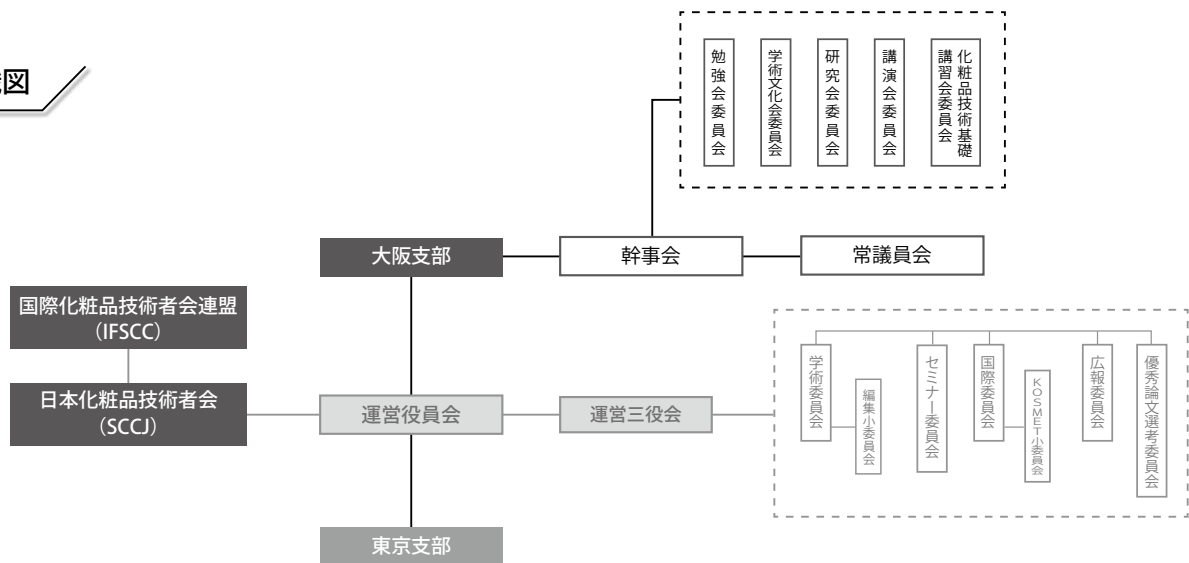
■大阪支部 〒541-0045 大阪市中央区道修町1-7-11 岩瀬コスファ（株）内
TEL:06-6231-3459 FAX:06-6231-5769

■東京支部 〒106-0032 東京都港区六本木5-18-17 化成品会館内
TEL:03-3586-0775 FAX:03-3586-0833

■活動目的 本会は、化粧品及び関連の科学技術の進歩向上に貢献すると共に会員相互の交流と啓発を図る為の事業を行い、内外化粧品産業の発展に寄与することを目的とする。

- 主な活動
- 研究討論会の開催 ○海外研究発表会への積極参加 ○ジャーナル（会誌）の発行
 - 優秀論文の表彰 ○SCCJセミナーの開催 ○総会の開催
 - 化粧品技術基礎講習会（東京支部、大阪支部）の開催
 - 研究会（東京支部）、勉強会（大阪支部）の開催
 - 講演会（東京支部、大阪支部）の開催

■組織図

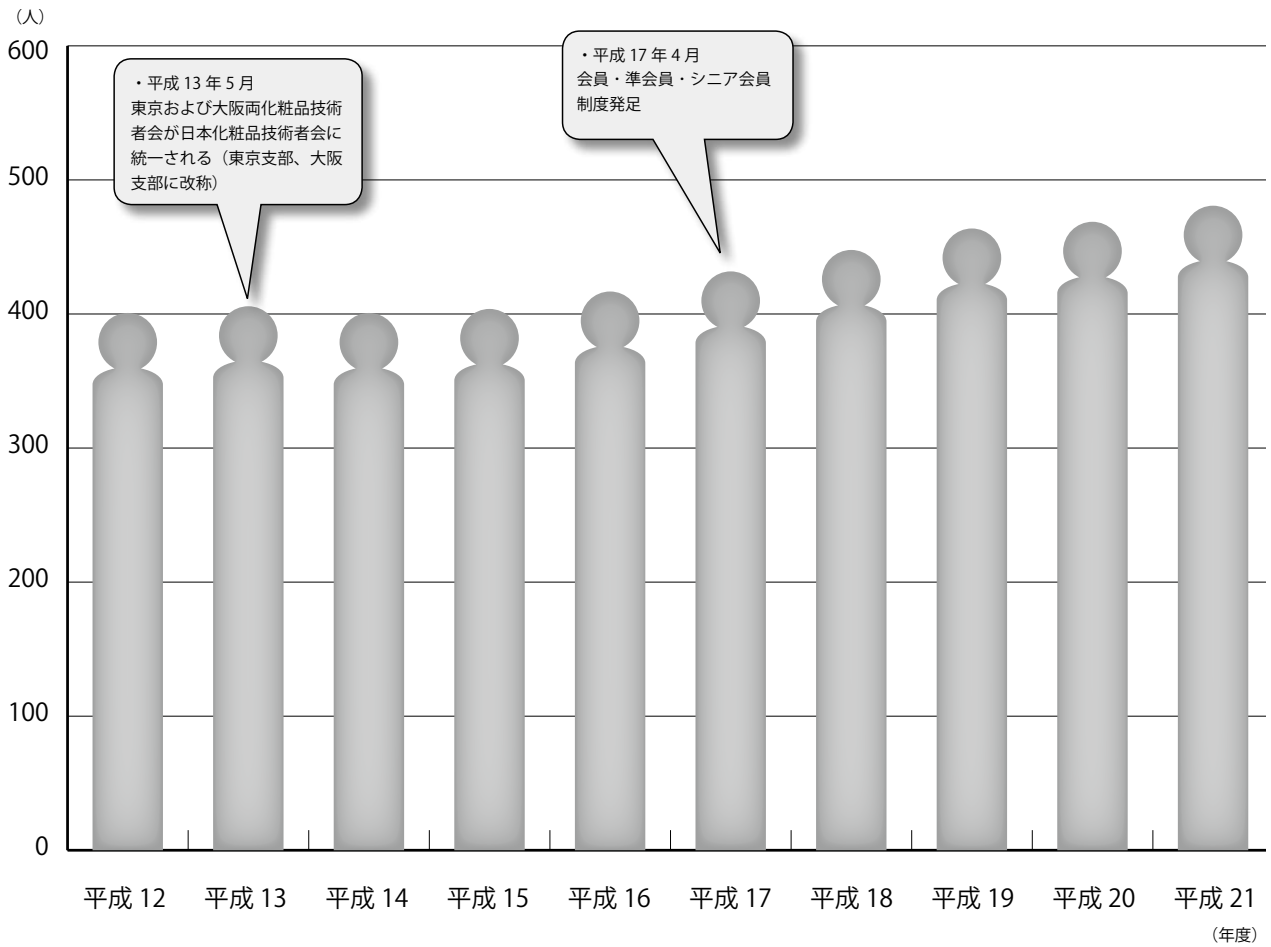


■各種団体との交流

- | | | | |
|--|---|---|--|
| <p>〈国内他学会との交流〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本香粧品学会 ・日本皮膚科学会 ・日本化学会 ・日本農芸化学会 ・日本油化学会 ・日本薬学会 | <p>〈海外化粧品技術者との交流〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際化粧品技術者会連盟 (IFSC) ・アジア化粧品技術者会連盟 (ASCS) ・米国化粧品技術者会 (SCC) | <p>〈関連諸団体との交流〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本化粧品工業連合会 ・財団法人 日本粧業会 ・化粧品原料協会 ・近畿化粧品原料協会 ・日本香料工業会 ・日本石鹼洗剤工業会 ・日本界面活性剤工業会 ・日本ヘアカラー工業会 | <p>〈企業との交流〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの関連企業から会員多数 容器・包装・原料 印刷・デザイン・調査 |
|--|---|---|--|

大阪支部会員数の推移

平成 12 (2000) 年～平成 21 (2009) 年



単位 (人)

| | 平成 12 年 | 13 年 | 14 年 | 15 年 | 16 年 | 17 年 | 18 年 | 19 年 | 20 年 | 21 年 |
|-----------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 大阪支部 全会員 | 401 | 406 | 401 | 404 | 417 | 432 | 448 | 464 | 469 | 481 |
| ※内訳 (正会員) | 391 | 396 | 391 | 394 | 407 | 394 | 406 | 424 | 429 | 436 |
| (準会員) | | | | | | 14 | 17 | 16 | 14 | 21 |
| (シニア会員) | | | | | | 15 | 16 | 16 | 17 | 15 |
| (名誉会員) | 5 | 5 | | | | | | | | |
| (参与) | 5 | 5 | | | | | | | | |
| (相談役) | | | 5 | 7 | 7 | 6 | 6 | 5 | 6 | 6 |
| (顧問) | | | 5 | 4 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 本部 | 1,220 | 1,269 | 1,291 | 1,269 | 1,317 | 1,407 | 1,478 | 1,504 | 1,527 | 1,546 |

※人数は各年度末 (3 月 31 日) 時点のもので、社内交代、支部間移動を含みます。

第一章 総 則

第 1 条 (名称)

本支部は、日本化粧品技術者会 (SCCJ) の大阪支部 (Osaka Chapter of the Society of Cosmetic Chemists of Japan) と称する。

第 2 条 (目的) (本部規約第 3 条に準拠)

第 3 条 (事業)

本支部は、前条の目的を達するため、本部事業に加え、次の事業を行う。

- 1) 化粧品科学に関する研修会・講演会・勉強会等の事業
- 2) 内外化粧品関連情報、会員相互の交流助成に必要な情報の提供
- 3) 関連諸団体との連携・協力による事業
- 4) その他本支部の目的に沿うと考えられる事業

第 4 条 (事務局)

- 1) 本支部の事務局を、幹事会の指定する所におく。
- 2) 事務局は、本支部の事業を円滑に推進するための業務を行う。
- 3) 事務局は、次の資料を保管する。
 - (1) 会員名簿
 - (2) 事業・諸会議記録
 - (3) 会計記録
 - (4) その他の関係資料

第二章 会 員

第 5 条 (会員の資格) (本部規約第 6 条に準拠)

第 6 条 (会員の構成及び資格審査) (本部規約第 7 条に準拠)

第 7 条 (会員の権利) (本部規約第 8 条に準拠)

第 8 条 (年会費) (本部規約第 9 条に準拠)

第 9 条 (入退会等及び会員資格の停止) (本部規約第 10 条に準拠)

第 10 条 (会員及び IFSCC 会員資格の喪失) (本部規約第 11 条に準拠)

第三章 役 員 と 委 員

第 11 条 (役員)

- 1) 本支部に、次の役員を置く。
 - (1) 幹事長 1 名
 - (2) 副幹事長 若干名
 - (3) 幹事 若干名
 - (4) 会計監査 1 名
- 2) 幹事の中から、庶務 1 名、会計 1 名を選任する。
- 3) 幹事の中から、各委員長を選任する。
- 4) 相談役を選任する。
役員の任期は 2 年とし、再選・重任を妨げない。

第 12 条 (役員を選出)

- 1) 幹事は、正会員から選出し、幹事長、副幹事長及び庶務、会計の幹事は幹事の互選により定める。
- 2) 委員長は、幹事会の議を経て、幹事長が委嘱する。
- 3) 会計監査は、正会員から 1 名を幹事会が選出し、幹事長が委嘱する。
- 4) 相談役は、若干名を幹事会が選出し、幹事長が委嘱する。

第 13 条 (役員の仕事)

- 1) 幹事長は、本支部を代表し、副幹事長は幹事長を補佐し、幹事長に事故ある時これを代行する。
- 2) 庶務、会計の幹事はそれぞれの会務を分掌し、幹事は本支部の運営に任じ、委員は本支部の事業を推進し会務を処理する。
- 3) 会計監査は、本支部の資産管理及び会計の監査を行う。
- 4) 相談役は、本支部の運営に参画し、幹事長をたすける。

第 14 条 (常議員)

- 1) 常議員は、会員から幹事会が選出し、幹事長が任命委嘱する。任期は 2 年とし、再選・重任を妨げない。
- 2) 常議員は、本支部の運営にあたって幹事会に協力し活動するものとする。

第 15 条 (委員)

各委員会の委員は、幹事及び常議員から委員長が選出し、幹事会の承認を得て、幹事長が任命委嘱する。任期は 2 年とし、再選・重任を妨げない。

第四章 会 議

第 16 条 (会議)

本支部の会議は、総会、幹事会、常議員会、並びに委員会とする。

第 17 条 (総会)

- 1) 本支部総会は、毎年 1 回通常総会を開き、必要あるとき臨時総会を開く。
本支部総会の議決権は、本支部会員が有する。
- 2) 本支部総会は、幹事会の議を経て幹事長が招集し、本支部会員の過半数を以って成立する。
- 3) 本支部総会の議決は、通常、出席会員の過半数を以って決する。
但し、本規約の制定及び改廃、本支部の解散または重大な組織の変更等に関しては本支部総会において本支部全会員数の過半数の賛成を要する。
- 4) 本支部総会に付議し、承認を必要とする事項は次の通りとする。
 - (1) 規約及び細則の制定及び改廃
 - (2) 予算案並びに、決算、会計監査報告
 - (3) 本支部の解散または重大な組織変更
- 5) 本支部総会に報告すべき事項は次の通りとする。
 - (1) 改選時における選出幹事及び常議員の報告
 - (2) 事業報告並びに事業計画
 - (3) 入退会者報告

第 18 条 (幹事会及び常議員会)

- 1) 幹事会は、必要に応じ幹事長が召集し、幹事の過半数以上の出席を以って成立し、決議は出席幹事の過半数を以って決する。
- 2) 常議員会は、必要に応じ幹事長が招集する。
- 3) 幹事・常議員会は、本支部の事業計画・事業推進について、討議・検討を行う。

第 19 条 (相談役・顧問)

本支部は、幹事会の議を経て、相談役、顧問をお

くことができる。
幹事長より委嘱を受けた相談役は、幹事会に出席し、意見を述べることができるが議決権はない。

第五章 会計

- 第20条 (運営資金)
本支部の運営資金は、年会費、本支部が行う事業収入、並びに臨時会費等による。
- 第21条 (会計年度) (本部規約第26条に準拠)
- 第22条 (資産・収支管理)
本支部の資産管理及び会計収支については、幹事会が責任を負うものとする。
- 第23条 (予算・決算)
- 1) 本支部の予算は、会計幹事が作成し、幹事会の議を経て本支部総会に提出し、承認を得なければならない。
 - 2) 本支部の決算は、会計幹事が作成し、会計監査の監査を受けたのち、幹事会において確認し、本支部総会にて承認を得なければならない。

第六章 付則

- 第24条 (細則)
本規約を円滑に運用するために細則を定めることができる。
- 第25条 (規約及び細則の改廃)
本支部の規約及び細則の改廃は、幹事会の議を経て、本支部総会の承認を得るものとする。
本規約は平成19年4月1日より実施する。

日本化粧品技術者会 大阪支部 細則 (平成19年4月1日改定)

- 第1条 総会 (支部規約 第四章 会議)
1. 総会の通知
本支部総会は、開催日の少なくとも10日前に会議の日時、場所及び議題を示し、書面で本支部全会員に通知しなければならない。
 2. 総会の議長
本支部総会の議長には、幹事長があたる。
 3. 代理権及び委任状
本支部総会に出席できない会員は、その代理人または委任状によって出席に換えることができる。
 4. 総会開催の請求権
本支部全会員数の10%以上の連名で総会開催の請求があったときは、速やかに本支部総会を開かなければならない。
 5. 審議及び採決の条件
提案に対し、1名以上の賛成があれば、その提案事項について審議しなければならない。
また、採決について投票によるよう提案があったときは、これによらなければならない。
 6. 臨時議案の議決の効力
本支部総会において予め通知されていない議案について議決したときは、会員に対し議決事項を通知し、2週間以内に本支部会員の過半数以上の異議がなければ、その議決事項は成立する。

- 第2条 会員 (支部規約 第二章 会員)
7. 会員の変更 (本部細則第4条に準拠)

- 第3条 幹事 (支部規約 第三章 役員と委員)

8. 幹事の定数
幹事の定数は、正会員より若干名とし、その数及び第1次選出される幹事の数に幹事会で定める。
9. 幹事の選出
幹事の選出は、第1次と第2次に分けて行う。第1次選出は、正会員から連記投票により選出する。第2次選出は、第1次選出幹事が推薦し残る定数まで選出する。
10. 被選挙権
同一組織体に2名以上の正会員があるときは、被選挙権者は予め申告された1名とする。
11. 幹事の代理並びに義務
幹事に事故あるとき、代理人を以ってこれにあてることができる。代理人は幹事会等において意見の発表ができると共に担当事項について会務処理をしなければならない。
12. 幹事の進退
幹事に転退職その他その身分に重大な変化が生じた場合、速やかにその進退を明らかにするものとする。遅延したときは、幹事会に一任したものとみなす。
13. 幹事の欠員補充
幹事に欠員を生じた場合の補充については、幹事会がこれを必要と認めた場合、前任者の残任期間に限り幹事会の推薦による幹事をこれにあてることができる。

- 第4条 その他の役員 (支部規約 第三章 役員と委員)

14. 相談役
相談役は、本支部に特に功労のあった方で幹事会の推挙を受けた者とする。
15. 顧問
顧問は、学識経験者にして本支部の目的達成のため事業に関与する。

- 第5条 SCCJ役員との関連 (支部規約 第三章 役員と委員)

16. 本部役員推薦委員
第一次選出幹事は本部の役員推薦委員会の委員となる。
17. 本支部の役員で本部役員を兼任するものに異動があったときは、本部の役職にも異動を生ずるものとする。

- 第6条 その他 (支部規約 第五章 会計)

18. 臨時会費
本支部は、幹事会の議を経て、臨時会費を徴取することができる。
 19. 協賛
本支部は、幹事会の議を経て、事業の目的に関連する、他の団体の事業に協賛することができる。
- 第7条 内規 (支部規約 第六章 付則)
20. 本規約並びに細則に定めのない事項で本支部の運営上必要と認められ、かつ本規約並びに細則に反しない事項は、幹事会定数の過半数の承認を得て、内規として実施することができる。

最近 10 年の幹事・常議員

平成 12 (2000) 年～平成 21 (2009) 年

| 平成 12 年度 (2000 年度) | | 平成 12 年 4 月 1 日～平成 13 年 3 月 31 日 | | | |
|--------------------|--|--|--|---|--|
| 会長 | 鈴木 一成 (ノエビア) | | | | |
| 副会長 | 河本 昌彦 (ナリス化粧品) | 渡辺 肇 (サンスター) | | | |
| 幹事 | 松山 金豊 (マングラム) 亀井 幸正 高木 慶一 (みづほ工業) 田中 秀和 (プロクター&ギャンブル) 南野 美紀 (クラブコスメチックス) | 五十嵐 淳一 (岩瀬コスファ) 久保田 隆三 (ラボワールド・オンライン・ジャパン) 高橋 理 (大阪資生堂) 田端 勇仁 (日光ケミカルズ) 吉井 伸一 (タカラベルモント) | 渥美 隆正 (ノエビア) 倉野 晃司 (牛乳石鹸共進社) 高橋 秀勝 (シバハシケミファ) 藤井 泰伸 (永廣堂本店) 吉岡 正人 (成和化成) | 堅田 友則 (日本メナード化粧品) 立岡 寛次 (クロバーコスメイク) 牧 昌利 (御木本製業) | |
| 相談役 | 芝篤 志 (フィランソア) | 高島 弘道 | 宮崎 俊彦 | | |
| 常議員 | 綾野 祐一 (タカラベルモント) 上田 清資 (御木本製業) 小林 泰信 (サンスター) 柴山 裕治 (東洋ビューティ) 瀬川 博嗣 (セニラボラトリーズ) 永尾 聖司 (成和化成) 藤井 一樹 (ミルボン) 水谷 宏 (日本メナード化粧品) 山本 芳邦 (山本香料) | 安藤 芳彦 (一丸ファルコス) 大津 耕一 (クロバーコスメイク) 佐倉 康寛 (日光ケミカルズ) 清水 秀雄 (感光社) 辻野 義雄 (ヘンケルライオンコスメティックス) 西田 寛 (コグニスジャパン) 藤原 延規 (マングラム) 八木 伸夫 (ピカソ美化学研究所) 横田 実 (クローダジャパン) | 井上 正秀 (ホーユー) 荻 徹 (高砂香料工業) 佐々木 公夫 (大阪資生堂) 神野 裕敦 (みづほ工業) 西谷 郁雄 (香椎化学工業) 藤原 正博 (桃谷順天館) 安田 俊二 (日本コルマー) 吉井 隆 (プロクター&ギャンブル) | 上園 紀裕 (日本ジョセフィン社) 古藤 仁巳 (稲畑香料) 重村 健二 (クラブコスメチックス) 末次 一博 (ナリス化粧品) 出水 義之 (テクノープル) 平井 浩 (小川香料) 正木 仁 (ノエビア) 山田 次夫 (龍宝堂製業) 吉井 昇 (中野製業) | |

| 平成 13 年度 (2001 年度) | | 平成 13 年 4 月 1 日～平成 14 年 3 月 31 日 | | | |
|--------------------|--|--|---|--|--|
| 幹事長 | 河本 昌彦 (ナリス化粧品) | | | | |
| 副幹事長 | 堅田 友則 (日本メナード化粧品) | 吉岡 正人 (成和化成) | 渡辺 肇 (サンスター) | | |
| 幹事 | 立岡 寛次 (クロバーコスメイク) 柴山 裕治 (東洋ビューティ) 田端 勇仁 (日光ケミカルズ) 藤井 一樹 (ミルボン) 吉井 伸一 (タカラベルモント) | 五十嵐 淳一 (岩瀬コスファ) 高木 慶一 (ニホンサンテック) 寺井 慎 (ノエビア) 牧 昌利 (御木本製業) 藤井 泰伸 (永廣堂本店) | 荻 徹 (高砂香料工業) 高橋 理 (大阪資生堂) 中口 修 (マングラム) 南野 美紀 (クラブコスメチックス) | 倉野 晃司 (牛乳石鹸共進社) 田中 秀和 (プロクター&ギャンブル) 那須 浩一 (ナリス化粧品) 山本 芳邦 (山本香料) | |
| 相談役 | 鈴木 一成 (ノエビア) | 亀井 幸正 | 宮崎 俊彦 | | |
| 常議員 | 綾野 祐一 (タカラベルモント) 上園 紀裕 (日本ジョセフィン社) 角野 啓治 (牛乳石鹸共進社) 重村 健二 (クラブコスメチックス) 瀬川 博嗣 (セニラボラトリーズ) 出水 義之 (テクノープル) 藤田 百合子 (東洋ビューティ) 水谷 宏 (日本メナード化粧品) 横田 実 (クローダジャパン) | 安藤 芳彦 (一丸ファルコス) 上田 清資 (御木本製業) 上村 洋一 (ピアス) 清水 秀雄 (感光社) 高木 和行 (みづほ工業) 永尾 聖司 (成和化成) 前川 喜美 (永廣堂本店) 安田 俊二 (日本コルマー) 吉井 隆 (プロクター&ギャンブル) | 井上 正秀 (ホーユー) 大島 康介 (小川香料) 古藤 仁巳 (稲畑香料) 末次 一博 (ナリス化粧品) 竹内 明 (サンスター) 西谷 郁雄 (香椎化学工業) 正木 仁 (コスモステクニカルセンター) 山田 次夫 (龍宝堂製業) | 伊部 雅子 (新和化成) 岡田 文裕 (マングラム) 佐倉 康寛 (日光ケミカルズ) 杉山 康夫 (資生堂) 武富 誠 (シバハシケミファ) 西村 哲治 (中野製業) 松尾 満次 (クロバーコスメイク) 山田 文人 (桃谷順天館) | |

平成 14 年度 (2002 年度)

平成 14 年 4 月 1 日～平成 15 年 3 月 31 日

| | | | | |
|------|--------------------|----------------------|--------------------|---------------------|
| 幹事長 | 河本 昌彦 (ナリス化粧品) | | | |
| 副幹事長 | 堅田 友則 (日本メナード化粧品) | 吉岡 正人 (成和化成) | 渡辺 肇 (サンスター) | |
| 幹事 | 立岡 寛次 (クロバーコスメイク) | 五十嵐 淳一 (岩瀬コスファ) | 荻 徹 (高砂香料工業) | 倉野 晃司 (牛乳石鹸共進社) |
| | 柴山 裕治 (東洋ビューティ) | 高木 慶一 (ニホンサンテック) | 高橋 理 (大阪資生堂) | 田中 秀和 (プロクター&ギャンブル) |
| | 田端 勇仁 (日光ケミカルズ) | 寺井 慎 (ノエビア) | 中口 修 (マンダム) | 那須 浩一 (ナリス化粧品) |
| | 藤井 一樹 (ミルボン) | 牧 昌利 (御木本製業) | 南野 美紀 (クラブコスメチックス) | 山本 芳邦 (山本香料) |
| | 吉井 伸一 (タカラベルモント) | 藤井 泰伸 (永廣堂本店) | | |
| 相談役 | 鈴木 一成 (ノエビア) | 亀井 幸正 | 宮崎 俊彦 | |
| 会計監査 | 藤井 泰伸 (永廣堂本店) | | | |
| 常議員 | 綾野 祐一 (タカラベルモント) | 安藤 芳彦 (一丸ファルコス) | 井上 正秀 (ホーユー) | 伊部 雅子 (新和化成) |
| | 上園 紀裕 (日本ジョセフィン社) | 上田 清資 (御木本製業) | 岡田 文裕 (マンダム) | 角野 啓治 (牛乳石鹸共進社) |
| | 上村 洋一 (ピアス) | 古藤 仁巳 (稲畑香料) | 佐倉 康寛 (日光ケミカルズ) | 重村 健二 (クラブコスメチックス) |
| | 清水 秀雄 (感光社) | 末次 一博 (ナリス化粧品) | 杉山 康夫 (資生堂) | 瀬川 博嗣 (セニラボラトリーズ) |
| | 高木 和行 (みづほ工業) | 竹内 明 (サンスター) | 武富 誠 (シバハシケミファ) | 出水 義之 (テクノープル) |
| | 永尾 聖司 (成和化成) | 西谷 郁雄 (香椎化学工業) | 西村 哲治 (中野製業) | 藤田 百合子 (東洋ビューティ) |
| | 前川 喜美 (永廣堂本店) | 正木 仁 (コスモステクニカルセンター) | 松尾 満次 (クロバーコスメイク) | 水谷 宏 (日本メナード化粧品) |
| | 安田 俊二 (日本コルマー) | 山田 次夫 (龍宝堂製業) | 山田 文人 (桃谷順天館) | 横田 実 (クローダジャパン) |
| | 吉井 隆 (プロクター&ギャンブル) | 吉村 悦二 (小川香料) | | |

平成 15 年度 (2003 年度)

平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日

| | | | | |
|------|------------------------|-----------------------|-------------------|-----------------|
| 幹事長 | 河本 昌彦 (ナリス化粧品) | | | |
| 副幹事長 | 南野 美紀 (クラブコスメチックス) | 吉岡 正人 (成和化成) | 渡辺 肇 (サンスター) | |
| 幹事 | 立岡 寛次 (クロバーコスメイク) | 諏訪 善親 (岩瀬コスファ) | 赤塚 龍司 (クローダジャパン) | 安藤 芳彦 (一丸ファルコス) |
| | 荻 徹 (高砂香料工業) | 倉野 晃司 (牛乳石鹸共進社) | 柴山 裕治 (東洋ビューティ) | 下村 健次 (御木本製業) |
| | 高木 和行 (みづほ工業) | 高橋 理 (大阪資生堂) | 田端 勇仁 (日光ケミカルズ) | 寺井 慎 (常盤薬品工業) |
| | 中口 修 (マンダム) | 水谷 宏 (日本メナード化粧品) | 山田 次夫 (龍宝堂製業) | 山本 芳邦 (山本香料) |
| | 藤井 泰伸 (永廣堂本店) | | | |
| 相談役 | 亀井 幸正 (レドックス・バイオサイエンス) | 鈴木 一成 (ノエビア) | 宮崎 俊彦 | |
| 会計監査 | 藤井 泰伸 (永廣堂本店) | | | |
| 常議員 | 綾野 祐一 (タカラベルモント) | 伊部 雅子 (新和化成) | 上園 紀裕 (日本ジョセフィン社) | 上田 清資 |
| | 岡田 文裕 (マンダム) | 岡野 由利 (コスモステクニカルセンター) | 角野 啓治 (牛乳石鹸共進社) | 金田 勲 (リアル) |
| | 神谷 卓宏 (香椎化学工業) | 上村 洋一 (ピアス) | 河合 行朗 (クローダジャパン) | 岸本 剣司 (壽ケミカル) |
| | 小島 弘之 (一丸ファルコス) | 古藤 仁巳 (稲畑香料) | 小森 潔 (ケーアイケミカル) | 沢井 道誠 (龍宝堂製業) |
| | 重村 健二 (クラブコスメチックス) | 清水 秀雄 (感光社) | 末次 一博 (ナリス化粧品) | 杉山 康夫 (資生堂) |
| | 武富 誠 (シバハシケミファ) | 出水 義之 (テクノープル) | 西田 寛 (コグニスジャパン) | 西村 哲治 (中野製業) |
| | 藤井 一樹 (ミルボン) | 藤田 百合子 (東洋ビューティ) | 堀西 信孝 (花王) | 前川 明男 (サンスター) |
| | 前川 喜美 (永廣堂本店) | 松尾 満次 (クロバーコスメイク) | 宮本 國寛 (日本メナード化粧品) | 安田 俊二 (日本コルマー) |
| | 山田 文人 (桃谷順天館) | 吉井 隆 (プロクター&ギャンブル) | 吉村 悦二 (小川香料) | |

平成 16 年度 (2004 年度)

平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日

| | | | | |
|------|--|---|---|---|
| 幹事長 | 河本 昌彦 (ナリス化粧品) | | | |
| 副幹事長 | 南野 美紀 (クラブコスメチックス) | 吉岡 正人 (成和化成) | 渡辺 肇 (サンスター) | |
| 幹事 | 立岡 寛次 (クロバーコスメイク) 荻 徹 (高砂香料工業) 高木 和行 (みづほ工業) 中口 修 (マンダム) 藤井 泰伸 (永廣堂本店) | 諏訪 善親 (岩瀬コスファ) 倉野 晃司 (牛乳石鹸共進社) 高橋 理 (資生堂) 水谷 宏 (日本メナード化粧品) | 赤塚 龍司 (クロードジャパン) 柴山 裕治 (東洋ビューティ) 田端 勇仁 (日光ケミカルズ) 山田 次夫 (龍宝堂製薬) | 安藤 芳彦 (一丸ファルコス) 下村 健次 (御木本製薬) 寺井 慎 (常盤薬品工業) 山本 芳邦 (山本香料) |
| 相談役 | 亀井 幸正 (レドックス・バイオサイエンス) | 鈴木 一成 (ノエビア) | 宮崎 俊彦 | |
| 会計監査 | 藤井 泰伸 (永廣堂本店) | | | |
| 常議員 | 綾野 祐一 (タカラベルモント) 岡田 文裕 (マンダム) 神谷 卓宏 (香椎化学工業) 古藤 仁巳 (稲畑香料) 清水 秀雄 (感光社) 出水 義之 (テクノープル) 藤田 百合子 (東洋ビューティ) 松尾 満次 (クロバーコスメイク) 吉井 隆 (プロクター&ギャンブル) | 伊部 雅子 (新和化成) 岡野 由利 (コスモステクニカルセンター) 上村 洋一 (ピアス) 小森 潔 (ケアアイケミカル) 末次 一博 (ナリス化粧品) 西田 寛 (コグニスジャパン) 堀西 信孝 (花王) 宮本 國寛 (日本メナード化粧品) 吉村 悦二 (小川香料) | 上園 紀裕 (日本ジョセフィン社) 角野 啓治 (牛乳石鹸共進社) 河合 行朗 (クロードジャパン) 沢井 道誠 (龍宝堂製薬) 杉山 康夫 (資生堂) 西村 哲治 (中野製薬) 前川 明男 (サンスター) 安田 俊二 (日本コルマー) | 上田 清資 (御木本製薬) 金田 勲 (リアル) 小島 弘之 (一丸ファルコス) 重村 健二 (クラブコスメチックス) 武富 誠 (シバハシケミファ) 藤井 一樹 (ミルボン) 前川 喜美 (永廣堂本店) 山田 文人 (桃谷順天館) |

平成 17 年度 (2005 年度)

平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日

| | | | | |
|------|---|---|---|---|
| 幹事長 | 河本 昌彦 (ナリス化粧品) | | | |
| 副幹事長 | 南野 美紀 (フルベール) | 吉岡 正人 (成和化成) | | |
| 幹事 | 立岡 寛次 (クロバーコスメイク) 古藤 仁巳 (稲畑香料) 柴山 裕治 (東洋ビューティ) 前川 明男 (サンスター) 吉井 隆 (プロクター&ギャンブル) | 安藤 芳彦 (一丸ファルコス) 小森 潔 (ケアアイケミカル) 高木 和行 (みづほ工業) 水谷 宏 (日本メナード化粧品) | 諏訪 善親 (岩瀬コスファ) 佐倉 康寛 (日光ケミカルズ) 高橋 理 (資生堂) 山田 次夫 (オープン化粧品) | 赤塚 龍司 (クロードジャパン) 塩貝 芳樹 (ノエビア) 藤原 延規 (マンダム) 山本 芳邦 (山本香料) |
| 相談役 | 亀井 幸正 | 鈴木 一成 (ノエビア) | 宮崎 俊彦 | |
| 会計監査 | 安藤 芳彦 (一丸ファルコス) | | | |
| 常議員 | 綾野 祐一 (タカラベルモント) 岡田 文裕 (マンダム) 金田 勲 (リアル) 小出 雅章 (高砂香料工業) 末次 一博 (ナリス化粧品) 寺井 慎 (常盤薬品工業) 藤田 百合子 (東洋ビューティ) 松尾 満次 (クロバーコスメイク) 山本 和司 (サンスター) | 伊東 泰通 (壽ケミカル) 岡野 由利 (コスモステクニカルセンター) 神谷 卓宏 (香椎化学工業) 沢井 道誠 (オープン化粧品) 武富 誠 (シバハシケミファ) 西村 哲治 (中野製薬) 堀 道政 (一丸ファルコス) 宮本 國寛 (日本メナード化粧品) 吉村 悦二 (小川香料) | 伊部 雅子 (新和化成) 荻 徹 (オギ・コーポレーション) 上村 洋一 (ピアス) 重村 健二 (クラブコスメチックス) 田村 知之 (大阪佐々木化学) 長谷部 佳宏 (花王) 前川 喜美 (永廣堂本店) 安田 俊二 (日本コルマー) | 小笹 祥次 (日本ジョセフィン社) 角野 啓治 (牛乳石鹸共進社) 河合 行朗 (クロードジャパン) 清水 秀雄 (感光社) 辻 延秀 (御木本製薬) 藤井 一樹 (ミルボン) 増田 豊彦 (資生堂) 山田 文人 (桃谷順天館) |

平成 18 年度 (2006 年度)

平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日

| | | | | |
|------|--|--|--|---|
| 幹事長 | 河本 昌彦 (ナリス化粧品) | | | |
| 副幹事長 | 南野 美紀 (ベルヴィーヌ) | 吉岡 正人 (成和化成) | | |
| 幹事 | 立岡 寛次 (クロバーコスメイク) 古藤 仁巳 (稲畑香料) 柴山 裕治 (東洋ビューティ) 藤原 延規 (マンダム) 山本 芳邦 (山本香料) | 安藤 芳彦 (一丸ファルコス) 小森 潔 (ケーアイケミカル) 高木 和行 (みづほ工業) 前川 明男 (サンスター) 吉井 隆 (プロクター&ギャンプル) | 諏訪 善親 (岩瀬コスファ) 佐倉 康寛 (日光ケミカルズ) 杉山 康夫 (資生堂) 水谷 宏 (日本メナード化粧品) | 赤塚 龍司 (クロードジャパン) 塩貝 芳樹 (ノエビア) 西村 二郎 (牛乳石鹸共進社) 山田 次夫 (オープン化粧品) |
| 相談役 | 亀井 幸正 | 鈴木 一成 (ノエビア) | 宮崎 俊彦 | |
| 会計監査 | 安藤 芳彦 (一丸ファルコス) | | | |
| 常議員 | 綾野 祐一 (タカラベルモント) 小笹 祥次 (日本ジョセフィン社) 角野 啓治 (牛乳石鹸共進社) 小出 雅章 (高砂香料工業) 末次 一博 (ナリス化粧品) 寺井 慎 (常盤薬品工業) 堀 道政 (一丸ファルコス) 宮本 國寛 (日本メナード化粧品) 吉村 悦二 (小川香料) | 伊東 泰通 (壽ケミカル) 岡田 文裕 (マンダム) 神谷 卓宏 (香椎化学工業) 沢井 道誠 (オープン化粧品) 武富 誠 (シバハシケミファ) 西村 哲治 (中野製薬) 前川 喜美 (永廣堂本店) 安田 俊二 (日本コルマー) | 伊部 雅子 (新和化成) 岡野 由利 (コスモステクニカルセンター) 上村 洋一 (ピラス) 重村 健二 (クラブコスメチックス) 田村 知之 (大阪佐々木化学) 長谷部 佳宏 (花王) 増田 豊彦 (資生堂) 山田 文人 (桃谷順天館) | 植田 光一 (東洋ビューティ) 荻 徹 (オギ・コーポレーション) 河合 行朗 (クロードジャパン) 清水 秀雄 (感光社) 辻 延秀 (御木本製薬) 藤井 一樹 (ミルボン) 松尾 満次 (クロバーコスメイク) 山本 和司 (サンスター) |

平成 19 年度 (2007 年度)

平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日

| | | | | |
|------|--|--|---|--|
| 幹事長 | 柴山 裕治 (東洋ビューティ) | | | |
| 副幹事長 | 岡田 和喜 (マンダム) | 吉岡 正人 (成和化成) | | |
| 幹事 | 立岡 寛次 (クロバーコスメイク) 佐倉 康寛 (日光ケミカルズ) 高木 和行 (みづほ工業) 南野 美紀 (ベルヴィーヌ) 鷺尾 豊 (ナリス化粧品) | 諏訪 善親 (岩瀬コスファ) 塩貝 芳樹 (ノエビア) 西村 二郎 (牛乳石鹸共進社) 山田 次夫 (オープン化粧品) | 赤塚 龍司 (クロードジャパン) 重村 健二 (クラブコスメチックス) 前川 明男 (サンスター) 山本 芳邦 (山本香料) | 安藤 芳彦 (一丸ファルコス) 杉山 康夫 (資生堂) 水谷 宏 (日本メナード化粧品) 吉井 隆 (プロクター&ギャンプル) |
| 相談役 | 亀井 幸正 | 鈴木 一成 (ノエビア) | 宮崎 俊彦 | |
| 会計監査 | 小森 潔 (ケーアイケミカル) | | | |
| 常議員 | 伊部 雅子 (新和化成) 岡田 文裕 (マンダム) 河合 行朗 (クロードジャパン) 沢井 道誠 (オープン化粧品) 田村 知之 (大阪佐々木化学) 日暮 栄一 (丸善製薬) 前山 薫 (御木本製薬) 山田 光一 (花王) | 植田 光一 (東洋ビューティ) 岡野 由利 (コスモステクニカルセンター) 川上 喜美夫 (牛乳石鹸共進社) 清水 秀雄 (感光社) 寺井 慎 (常盤薬品工業) 藤田 百合子 (ビューティドア) 増田 豊彦 (資生堂) 山田 文人 (桃谷順天館) | 白井 一登 (シバハシケミファ) 荻 徹 (オギ・コーポレーション) 小出 雅章 (高砂香料工業) 末次 一博 (ナリス化粧品) 徳永 俊輔 (日本コルマー) 堀 道政 (一丸ファルコス) 松尾 満次 (クロバーコスメイク) 山本 和司 (サンスター) | 小笹 祥次 (アンズコーポレーション) 神谷 卓宏 (香椎化学工業) 古藤 仁巳 (稲畑香料) 情野 治良 (ピラス) 西村 哲治 (中野製薬) 前川 喜美 (永廣堂本店) 宮本 國寛 (日本メナード化粧品) 吉村 悦二 (小川香料) |

平成 20 年度 (2008 年度)

平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日

| | | | | |
|------|--|--|--|---|
| 幹事長 | 柴山 裕治 (東洋ビューティ) | | | |
| 副幹事長 | 岡田 和喜 (マンダム) | 吉岡 正人 (成和化成) | | |
| 幹事 | 立岡 寛次 (クロバーコスメイク) 石本 潔 (資生堂) 重村 健二 (クラブコスメチックス) 南野 美紀 (ベルヴィーヌ) 鷺尾 豊 (ナリス化粧品) | 諏訪 善親 (岩瀬コスファ) 川上 喜美夫 (牛乳石鹸共進社) 高木 和行 (みづほ工業) 山田 次夫 (オッペン化粧品) | 赤塚 龍司 (クローダジャパン) 佐倉 康寛 (日光ケミカルズ) 前川 明男 (サンスター) 山本 芳邦 (山本香料) | 安藤 芳彦 (一丸ファルコス) 塩貝 芳樹 (ノエビア) 水谷 宏 (日本メナード化粧品) 吉井 隆 (プロクター&ギャンブル) |
| 相談役 | 亀井 幸正 | 河本 昌彦 (ナリス化粧品) | 鈴木 一成 (ノエビア) | 宮崎 俊彦 |
| 会計監査 | 小森 潔 (ケーアイケミカル) | | | |
| 常議員 | 伊部 雅子 (新和化成) 恵谷 英夫 (丸善製薬) 小笹 祥次 (アンズコーポレーション) 古藤 仁巳 (稲畑香料) 情野 治良 (ピラス) 西村 哲治 (中野製薬) 前山 薫 (御木本製薬) 山田 光一 (花王) | 今西 豊 (牛乳石鹸共進社) 岡田 文裕 (マンダム) 神谷 卓宏 (香椎化学工業) 沢井 道誠 (オッペン化粧品) 田村 知之 (大阪佐々木化学) 藤田 百合子 (ビューティドア) 増田 豊彦 (資生堂) 山田 文人 (桃谷順天館) | 植田 光一 (東洋ビューティ) 岡野 由利 (コスモステクニカルセンター) 河合 行朗 (クローダジャパン) 清水 秀雄 (感光社) 寺井 慎 (常盤薬品工業) 堀 道政 (一丸ファルコス) 宮本 國寛 (日本メナード化粧品) 山本 和司 (サンスター) | 白井 一登 (シバハシケミファ) 荻 徹 (オギ・コーポレーション) 小出 雅章 (高砂香料工業) 末次 一博 (ナリス化粧品) 徳永 俊輔 (日本コルマー) 前川 喜美 (永廣堂本店) 森 寛 (クロバーコスメイク) 吉村 悦二 (小川香料) |

平成 21 年度 (2009 年度)

平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日

| | | | | |
|------|--|--|--|---|
| 幹事長 | 柴山 裕治 (東洋ビューティ) | | | |
| 副幹事長 | 岡田 和喜 (マンダム) | 吉岡 正人 (成和化成) | | |
| 幹事 | 立岡 寛次 (クロバーコスメイク) 川上 喜美夫 (牛乳石鹸共進社) 高木 和行 (みづほ工業) 山田 次夫 (オッペン化粧品) 鷺尾 豊 (ナリス化粧品) | 諏訪 善親 (岩瀬コスファ) 佐倉 康寛 (日光ケミカルズ) 伊藤 克英 (資生堂) 山本 和司 (サンスター) | 赤塚 龍司 (クローダジャパン) 塩貝 芳樹 (ノエビア) 水谷 宏 (日本メナード化粧品) 山本 芳邦 (山本香料) | 安藤 芳彦 (一丸ファルコス) 重村 健二 (クラブコスメチックス) 南野 美紀 (ベルヴィーヌ) 吉井 隆 (プロクター&ギャンブル) |
| 相談役 | 亀井 幸正 | 河本 昌彦 (ナリス化粧品) | 鈴木 一成 (ノエビア) | 宮崎 俊彦 |
| 会計監査 | 小森 潔 (ケーアイケミカル) | | | |
| 常議員 | 伊部 雅子 (新和化成) 恵谷 英夫 (丸善製薬) 荻 徹 (オギ・コーポレーション) 河合 誠雄 (P & G マックスファクター合同会社) 沢井 道誠 (オッペン化粧品) 田村 知之 (大阪佐々木化学) 藤田 百合子 (ビューティドア) 宮本 國寛 (日本メナード化粧品) 山田 文人 (桃谷順天館) | 植田 光一 (東洋ビューティ) 岡田 文裕 (マンダム) 神谷 卓宏 (香椎化学工業) 清水 正人 (感光社) 寺井 慎 (常盤薬品工業) 堀 道政 (一丸ファルコス) 森田 寛三 (牛乳石鹸共進社) 吉岡 隆嗣 (岩瀬コスファ) | 上田 俊吾 (サンスター) 岡野 由利 (コスモステクニカルセンター) 河合 行朗 (クローダジャパン) 小出 雅章 (高砂香料工業) 末次 一博 (ナリス化粧品) 徳永 俊輔 (日本コルマー) 前川 喜美 (永廣堂本店) 山口 耕司 (アンズコーポレーション) 吉村 悦二 (小川香料) | 白井 一登 (シバハシケミファ) 小川 克基 (資生堂) 古藤 仁巳 (稲畑香料) 立岡 泰昭 (クロバーコスメイク) 西村 哲治 (中野製薬) 前山 薫 (御木本製薬) 林 正治 (花王) |

大阪支部 60 周年記念事業 委員紹介

■ 60 周年記念事業全体

| | | |
|-----|-------|--------------|
| 本部長 | 柴山 裕治 | (東洋ビューティ) |
| 委員 | 吉岡 正人 | (成和化成) |
| 〃 | 岡田 和喜 | (マンダム) |
| 〃 | 諏訪 善親 | (岩瀬コスファ) |
| 〃 | 佐倉 康寛 | (日光ケミカルズ) |
| 〃 | 南野 美紀 | (ベルヴィーヌ) |
| 〃 | 重村 健二 | (クラブコスメチックス) |
| 〃 | 山本 芳邦 | (山本香料) |

■ 記念誌

| | | |
|-----|--------|-----------------|
| 委員長 | 南野 美紀 | (ベルヴィーヌ) |
| 委員 | 川上 喜美夫 | (牛乳石鹼共進社) |
| 〃 | 伊部 雅子 | (新和化成) |
| 〃 | 岡田 文裕 | (マンダム) |
| 〃 | 岡野 由利 | (コスモステクニカルセンター) |
| 〃 | 立岡 泰昭 | (クロバーコスメイク) |
| 〃 | 徳永 俊輔 | (日本コルマー) |
| 〃 | 吉岡 隆嗣 | (岩瀬コスファ) |

■ 記念式典

| | | |
|-----|--------|------------|
| 委員長 | 柴山 裕治 | (東洋ビューティ) |
| 委員 | 吉岡 正人 | (成和化成) |
| 〃 | 岡田 和喜 | (マンダム) |
| 〃 | 赤塚 龍司 | (クローダジャパン) |
| 〃 | 伊藤 克英 | (資生堂) |
| 〃 | 川上 喜美夫 | (牛乳石鹼共進社) |
| 〃 | 水谷 宏 | (日本メナード) |
| 〃 | 山田 次夫 | (オッペン化粧品) |

■ 全般 (コーディネーター)

| | | |
|-----|-------|-------------|
| 委員長 | 諏訪 善親 | (岩瀬コスファ) |
| 会計 | 立岡 寛次 | (クロバーコスメイク) |
| 〃 | 安藤 芳彦 | (一丸ファルコス) |

■ 記念講演会

| | | |
|-----|-------|-------------|
| 委員長 | 南野 美紀 | (ベルヴィーヌ) |
| 委員 | 高木 和行 | (みづほ工業) |
| 〃 | 塩貝 芳樹 | (ノエビア) |
| 〃 | 寺井 慎 | (常盤薬品工業) |
| 〃 | 宮本 國寛 | (日本メナード化粧品) |

■ 特別講演会

| | | |
|-----|-------|-----------------|
| 委員長 | 山本 芳邦 | (山本香料) |
| 委員 | 吉井 隆 | (P&G) |
| 〃 | 鷲尾 豊 | (ナリス化粧品) |
| 〃 | 上田 俊吾 | (サンスター) |
| 〃 | 岡野 由利 | (コスモステクニカルセンター) |

■ 祝賀会

| | | |
|-----|-------|---------------|
| 委員長 | 佐倉 康寛 | (日光ケミカルズ) |
| 委員 | 諏訪 善親 | (岩瀬コスファ) |
| 〃 | 重村 健二 | (クラブコスメチックス) |
| 〃 | 山本 和司 | (サンスター) |
| 〃 | 伊部 雅子 | (新和化成) |
| 〃 | 前川 喜美 | (永廣堂本店) |
| 〃 | 荻 徹 | (オギ・コーポレーション) |
| 〃 | 古藤 仁巳 | (稲畑香料) |

■ 事務局

| | | |
|-----|-------|----------|
| 事務局 | 吉岡 隆嗣 | (岩瀬コスファ) |
| 〃 | 久保 瑞穂 | (岩瀬コスファ) |
| 〃 | 川戸 淳司 | (岩瀬コスファ) |

あとがき

1949年に近畿化粧品技術者会として発足した日本化粧品技術者会大阪支部が、設立60周年を迎えました。多くの先輩方の熱意と努力により積み重ねられてきた60年の歴史を、皆様とともに祝うことができ光栄に思います。

この10年、日本化粧品技術者会も大きく変化し、若手研究者が入会しやすい制度づくりや、大阪支部と東京支部の一本化など様々な事業が進んできました。今後、さらに東西の一本化が進む中、大阪支部としての記念事業は、この60周年が最後になると思われます。

このような状況で、設立60周年の記念事業の一環として、60周年記念誌を発行することになり、記念誌編集委員会が組織されました。委員会では、大阪支部として最後の記念事業となるのであれば、独自の精神で発展してきた大阪支部の60年の歴史を後世に伝える記録誌をつくらうということになり、「大阪支部60年の歩み」を中心に編纂することにしました。まず、業界の発展の歴史と共に歩んだ大阪支部の歩みを年表にまとめるとともに、50周年以降10年の大阪支部の行事を一覧できるようにしました。また、日本化粧品技術者会として2006年に開催し、大阪支部の底力とホスピタリティを世界に見せつけることができたIFSCC大阪大会の様子も掲載することにしました。時代とともに発展してきた化粧品業界の歴史や、時代とともに変化する研究トレンドなども読み取れる、意味深い記念誌になったのではないかと考えています。これからも日本化粧品技術者会大阪支部として、化粧品業界の発展に貢献できることを確信しています。

最後になりましたが、ご祝辞を頂戴しました日本化粧品技術者会会長西山聖二様をはじめ、関係各位に厚く御礼申し上げます。

平成22(2010)年1月

60周年記念誌委員会
委員長 南野 美紀

日本化粧品技術者会 大阪支部 60周年記念誌

平成22(2010)年1月発行

発行 日本化粧品技術者会 大阪支部
〒541-0045 大阪市中央区道修町1丁目7番11号
岩瀬コスファ株式会社内
編集 60周年記念誌委員会
制作協力 株式会社DNP年史センター
印刷製本 大日本印刷株式会社
〒550-8508 大阪市西区南堀江1丁目17番28号 なんばSSビル

本冊子の著作権は、日本化粧品技術者会 大阪支部に帰属します。本冊子の内容を、権利者の承諾なしに複製・公開することを禁じます。



SCCJ Osaka

日本化粧品技術者会
大阪支部

